

# 資 料

資料1 令和5年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等実績報告（概要）・・・P. 1～P. 3

資料2 関係各課 事業報告  
小中学校課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 4～P. 8  
学校安全対策課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 9～P. 16

資料3 令和5年度事業別市町村別事業実績一覧・・・・・・・・・・・・P. 17

資料4 令和6年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画・P. 18 ～P. 19

資料5 令和6年度事業別市町村別事業実施予定一覧・・・・・・・・・・・・P. 20

資料6 令和5年度地域学校協働本部事業に関する取組状況調査（まとめ）・・・・・・P. 21～P. 28

資料7 NPO法人高知県生涯学習支援センター（学び場人材バンク）事業報告・・・P. 29～P. 33

令和5年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等事業報告(概要)

資料 1

1 推進委員会の実施

■第1回

【開催日】令和5年11月6日

【内容】令和4年度実績報告、令和5年度中間報告等

■第2回

【開催日】令和6年2月15日

【内容】令和5年度事業報告(実績見込)、令和6年度事業計画等

2 研修会等

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
(1) 全体研修会、ブロック別研修会及び地域コーディネーター研修会	高知県地域学校協働活動研修会 (全体研修会)	令和5年7月24日	いの町総合保健福祉センター(すこやかセンター伊野)大会議室	【基調講演】 「学校運営協議会と地域学校協働活動の意義と効果的な運用について ～一体的に推進していくためのポイント～」  【実践発表】  [グループによる情報交換]	講師 小川 真悟 氏 (高知市立春野中学校長)  発表者 木村 大作 氏 (高知市教育委員会学校教育課指導主事)	119名	83%	【地域学校協働本部事業】 ・地域学校協働本部設置率 100%  ・コロナの5類移行に伴い、活動内容の見直しを図りながらそれぞれの地域や学校に応じた協働活動が実施されている。また、オンラインを活用しての情報発信やLINEでのボランティアへの連絡の実施など工夫した取組も継続されている。  ・民生委員・児童委員の参画率 100%  ・高知県版地域学校協働本部の各市町村設置計画以上の97.4%で取組実施。厳しい環境にある子どもたちの地域による見守りの効果を実感している学校が増加した。また、不登校児童生徒への対応に地域学校協働活動推進員等が関わることで、居場所づくりにつながっている。	【地域学校協働本部事業】 ・市町村や学校によって活動内容に差がある。地域学校協働活動事例集の取組を周知するとともに様々な場面で活用し、他本部の活動事例を自本部での実践に結びつけられるように支援する。  ・子どもの学びを中心とした協働活動の工夫や働き方改革を踏まえた活動内容を周知することで協働活動の充実を図る。  ・コミュニティ・スクールとの一体的な推進に向け、育てたい子どもの姿を共有し、活動の目的や必要性を明確にした協働活動を展開していくことで、社会に開かれた教育課程の実現につなげていく。そのための核となる、市町村教育委員会とさらなる連携を図り、支援方法等を検討していく。また、市町村担当者向けの研修についても検討していく。
	高知県地域学校協働活動 ブロック別研修会	令和5年10月20日	中部会場: 本山町立嶺北中学校	【副題】 コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的な推進に向けて	【中部】 実践発表: 「できる人が できる時に できることから」 本山町教育委員会・本山町立嶺北中学校	53名	83%	・見守り活動や学習支援による声かけ等が、子どもたちの心の安定や自尊心の高まりにつながった。また、民生委員・児童委員と家庭がつながることで、学校との情報共有がより円滑になり、継続的支援につながっている。  ・地域学校協働活動研修会(全体研・ブロック別)や地域コーディネーター研修会等の継続的実施により協働活動の意義や取組についての理解が深まってきている。  ・地域学校協働活動事例集掲載の取組を、自本部の取組に生かそうとする様子が見られた。	・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について、教育長・学校長・教頭のみでなく、教職員等への理解を促進するために研修会のあり方を検討する必要がある。そのために関係各課との情報の共有や連携体制を強化していく。  ・地域コーディネーターの確保・育成。 地域コーディネーターの課題意識に沿った研修内容を検討し、コーディネーターの横のつながりの強化を図りながら地域との連携・協働体制の推進に活かしていく。 また、コーディネートシートを活用し、研修会の充実を図っていく。  ・ボランティアの確保 ボランティア参加者の高齢化や固定化が見られ、確保に苦慮している。
		令和5年10月27日	高知市会場: アスパルこうち	授業公開 事業説明 実践発表 情報交換 グループ別ワークショップ 等	【高知市】 実践発表①高知市立久重小学校事務職員 ②高知市社会福祉協議会地域協働課 地域福祉コーディネーター	28名	100%		
		令和6年2月2日	西部会場: 四万十市文化センター		【西部】 実践発表: 四万十市立西土佐小学校・四万十市立西土佐中学校	-	-		
令和6年2月8日	東部会場: 香美市立図書館 かみーる		【東部】 実践発表: 香美市教育委員会・香美市立山田小学校・地域学校協働活動推進員	-	-				
高知県地域コーディネーター研修会 (全3回)	令和5年10月24日	第1回: 黒潮町役場本庁	【基調講演】 「CSと地域学校協働活動の一体的推進 ～コーディネーター力を高めよう!～」	【講師】 竹原 和泉 代表(NPO法人まちと学校のみらい)	28名	84%	・地域学校協働活動事例集掲載の取組を、自本部の取組に生かそうとする様子が見られた。	・ボランティアの確保 ボランティア参加者の高齢化や固定化が見られ、確保に苦慮している。	
	令和5年10月26日	第2回: いの町総合保健福祉センター	【実践発表及び質疑】	【実践発表者】 (第1回 西部会場) 小島 ふみ子 氏(宿毛市立山奈小学校長・山奈小学校地域学校協働本部) 示野 孝雄 氏(地域学校協働活動推進員・山奈小学校地域学校協働本部)	50名	84%			
	令和5年10月27日	第3回: 高知県立青少年センター	【グループによるワークショップ】	(第2回 中部会場) 筋野 健治 氏(南国市立北陵中学校教頭・北陵中学校地域学校協働本部)  (第3回 東部会場) 合田 浩俊 氏(津野町立葉山小学校長・葉山中学校区地域学校協働本部) 西元 和代 氏(統括コーディネーター・葉山中学校区地域学校協働本部)	38名	90%			
高知県社会教育実践交流会	令和6年2月24日	土佐市複合文化施設 つな一で	◆実践発表①  ◆実践発表②  ◆パネルディスカッション  ◆交流タイム	高知大学地域協働学部 4年生 伊藤 美紀 氏 高知大学地域協働学部 4年生 伏下 可愛 氏 高知大学地域協働学部 准教授 斉藤 雅洋 氏  NPO法人KEYS事務局長 藤原 睦己 氏 「社会教育でひろがるつながる地域の輪 ～青少年主体の活動から～」  登壇者 藤原 睦己 氏 竹上 定昭 氏(高知県社会教育委員連絡協議会会長) 佐竹 大樹 氏(高知県保幼小中高PTA連合体連絡協議会会長) 林田 翔平 氏(高知県青年団協議会会長) 森岡 千晴 氏(土佐市青年団会長) 石川 紗羅 氏(高知県立大学学生プロジェクト『立志社中』UOK手話サークル) 森岡 ふみ 氏(高知県立大学学生プロジェクト『立志社中』UOK手話サークル)  コーディネーター 斉藤 雅洋 氏	-	-			

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
① 新・放課後子ども教室推進事業及び放課後児童クラブ推進事業に係る資質向上研修	防災・防犯対策研修	令和5年7月7日 令和5年7月11日 令和5年7月13日	東部会場:安田町文化センター 中部会場:高知青少年の家 西部会場:四万十市立文化センター	◆講義・演習:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画の作成について」	講師:高知県教育委員会事務局学校安全対策課 企画監(学校安全担当)・兼 課長補佐 山本 英明 氏	164名	100%	【新・放課後子ども総合プラン推進事業】 【資質向上研修】 (各テーマ共通) ・研修会に参加できない方からのニーズがあるため、オンデマンド配信を継続して行った。業務の都合や日程上参加が難しい方に視聴していただくことができた。 ・取組状況調査や市町村ヒアリング、現場訪問の際にニーズを把握することで、実態に沿った研修を行うことができた。	【新・放課後子ども総合プラン推進事業】 【資質向上研修】 ・市町村担当者及び支援員の方からのニーズが高い、発達障害に関わる内容については、アンケート等の内容から個別支援を求めているケースが多いため、市町村ヒアリングの際に、課題を共有していく。 ・オンデマンドを含め、研修に参加する市町村が偏る傾向にあることから、参加が難しい理由等を把握し、参加率の向上を促す。
	実践発表会	令和5年9月12日 令和5年9月14日 令和5年9月19日	東部会場:高知県立青少年センター 中部会場:須崎市立市民文化会館 西部会場:四万十市役所	◆実践発表及び防犯対策研修会:「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実践発表を通し、事業所運営の工夫などを共有し支援員等の資質向上を図る」	実践発表者 (東部) 野市小学校第一児童クラブ 関川 喜美代 氏(東部会場) (中部) さくらんぼ児童会 大原 佐知子 氏(中部会場) (西部) 土佐清水小にこにこクラブ 江口 睦美 氏(西部会場) 防犯対策研修 講師:高知県警察本部生活安全部生活安全企画課地域安全対策推進担当課長補佐兼企画担当課長補佐 山川 智子 氏	175名	100%	・昨年度に引き続き、防犯に関する研修会を行うことで、一定の理解が進み、防犯の設備を整えた市町村も見受けられた。 ・資質向上研修の各会場において、安全計画の作成に関わる説明を行うことができた。	・学校からタブレットを持ち帰り、放課後児童クラブや放課後子ども教室で、学習を行う場面が少しずつ増えてきたが、学校でどのような学習をしているか把握できていない支援員の方が多いため、ICTに関わる研修会を検討する必要がある。
	防災・防犯対策研修・オンデマンド配信	令和5年7月27日～9月29日	オンデマンド配信	◆講義:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画の作成について」	講師:高知県教育委員会事務局学校安全対策課 企画監(学校安全担当)・兼 課長補佐 山本 英明 氏	8市町 26名 アンケートは任意	100.0%		
	発達障害への理解に関する研修	令和5年11月29日 令和5年12月5日 令和5年12月8日	中部会場:高知青少年の家 東部会場:高知県立青少年センター 西部会場:黒潮町役場	講義:「集団での活動における支援で大切にしたいこと～子どもほめて伸ばす方法～」	講師:一般社団法人FOREST BEAR 言語聴覚士 北岡 智子 氏 医療法人 森下会 森下病院 言語聴覚士 本東 祥江 氏	239名	97.9%		
	発達障害への理解に関する研修・オンデマンド配信	令和6年1月10日～令和6年2月22日	オンデマンド配信	◆講義:「集団での活動における支援で大切にしたいこと～子どもほめて伸ばす方法～」	講師:一般社団法人FOREST BEAR 言語聴覚士 北岡 智子 氏 医療法人 森下会 森下病院 言語聴覚士 本東 祥江 氏	-	-		
	安全対策研修会	令和6年1月18日 令和6年1月25日 令和6年1月26日	東部会場:高知県立青少年センター 中部会場:須崎市立市民文化会館 西部会場:四万十市役所	◆講義・演習:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全に関する体制作り」 ・食物アレルギーの誤食誤配を含む体制づくり ・エビベン使用を含めた体制作りや救急シミュレーション	講師:高知県教育委員会事務局保健体育課 チーフ(食育・学校給食・保健担当) 廣田 志保 氏 指導主事 河野 佳奈 氏	173名	100%		
	安全対策研修会オンデマンド配信	令和6年2月中旬～令和6年3月中旬	オンデマンド配信	◆講義:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全に関する体制作り」 ・食物アレルギーの誤食誤配を含む体制づくり ・エビベン使用を含めた体制作りや救急シミュレーション	講師:高知県教育委員会事務局保健体育課 チーフ(食育・学校給食・保健担当) 廣田 志保 氏 指導主事 河野 佳奈 氏	-	-		
② 放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員認定資格研修	令和5年9月18日 令和5年10月8日 令和5年11月26日 令和5年12月3日	高知県立高知青少年の家	「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(平成26年厚生労働省令第63号)に基づく、児童クラブに従事する放課後児童支援員として、必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することを目的とした講義等を、1日あたり4科目(1科目90分)、計4日間、1回実施。	NPO法人日本放課後児童指導員協会(委託)	82名 (修了:75名)	-	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・放課後児童クラブに配置が必要となる放課後児童支援員の資格を付与する。 ・受講者数(うち修了者数) R4:58(52)→R5:82(75) ・R3より、今後従事を希望する者も含めての募集に変更した。	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・市町村担当者ヒアリングでは「人材が不足しており、一部の職員に負担がかかっている。」「研修を受けたくても受講要件を満たさない職員がいる。」等の意見があった。 ・次年度以降も開催することに加え、人材確保に向けた市町村への支援も継続して行く。 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては開催方法の変更が必要になるが、「市町村条例で配置が求められる資格者の養成」という性質上、可能な限り集合形式で実施する。
③ 子育て支援員研修 放課後児童	子育て支援員研修 放課後児童コース	令和5年9月9日 令和5年9月10日	高知県立高知青少年の家	地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、放課後児童クラブ等に従事することを希望する者に対し、多様な子育て支援分野に関して必要となる知識や技能等を修得するため、これらの支援の担い手となる子育て支援員の資質の確保を図ることを目的とした講義等を、1日あたり3科目(1科目90分)、計2日間実施。	岡山大学 教育推進機構 准教授 中山 芳一 氏	30名 (修了:29名)	-	【子育て支援員研修】 ・補助員として勤務する際に必要な知識の習得。 ・放課後児童支援員認定資格研修の受講要件に該当しなくても受講可能。 ・修了者数 R4:76名→R5:29名	【子育て支援員研修】 ・保育や教育関係への従事経験がない者でも放課後児童クラブに従事することができるため、資質に差が生じている。 ・年度当初から市町村へ周知を行い、従事して間もない職員を中心に受講を推奨していく。 ・今後も開催時期の状況によりオンライン研修を取り入れるなど、臨機応変に対応していく。

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
③ 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した講座の開催④「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2021」	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用するためのファシリテーター養成研修会	基礎編: 令和5年10月13日 活用編: 令和5年10月25日 実践編: 令和5年11月1日	高知県立高知青少年の家 高知県立高知青少年の家 高知県立高知青少年の家	「子どもの心を開くコミュニケーションの仕方」を学ぶ「体験型講演会」 ・講義とロールプレイによる体験学習 プログラムの概要、プログラム体験 プログラム演習	講師: NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事 菅原 裕子 氏	申込者25名、認定者18名	96.0% 94.4% 95.0%	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・16市町村 ・家庭教育支援チーム: 6市町村(須崎市、宿毛市、馬路村、土佐町、日高村、田野町) ・「親プロ」活用講座 過去4年間と本年度の成果 回数 参加者 ファシリテーター派遣 R1 20回 536名 33名 R2 7回 76名 9名 R3 7回 109名 7名 R4 13回 155名 15名 R5 18回 396名 18名 (R6: 1月現在)	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・補助金活用市町村の固定化 →未申請の市町村に対する周知とともに、現在活用している市町村に対しても、他市町村の活用事例等を共有して、補助金の活用に向けた働きかけを行う。 ・派遣するファシリテーターが固定しないよう、ファシリテーターのスキルを向上するための工夫が必要。
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した講座	令和5年6月1日 令和5年6月9日 令和5年6月14日 令和5年6月15日 令和5年6月22日 令和5年6月23日 令和5年6月28日 令和5年8月2日 令和5年8月3日 令和5年8月3日 令和5年8月23日 令和5年9月21日 令和5年10月27日 令和5年11月15日 令和5年11月21日 令和5年12月8日 令和6年1月10日 令和6年1月19日 令和6年2月27日 令和6年2月29日	安芸市赤野保育所 四万十市立中筋小学校 四万十町立東又保育所 吉良川第一保育所 佐喜浜保育所 越知幼稚園 本山保育所 天理あかつき保育園 下ノ加江保育園 サンサンひろば(須崎市) 足摺岬保育園 黒潮町子育て支援センター 春野西小学校 構原こども園 春野東小学校 小筑紫保育園 南国市立あけぼの保育所 春野東小学校 愛聖保育園 どんぐりっこ(土佐清水市)	子どもたちにしてあげたいこと 子どもの「ケータイ・スマホ」どう考える? 子育てのイライラとうまく付き合う親になろう 子育てのイライラとうまく付き合う親になろう 早ね早おき朝ごはんで元気もりもり大作戦! 子育てのイライラとうまく付き合う親になろう 子育てのイライラとうまく付き合う親になろう 子育てのイライラとうまく付き合う親になろう 子育てのポイント あったか ゆったり 子育て法 早ね早おき朝ごはんで元気もりもり大作戦! 子どもは「生き生き」してる? いのちの教室 子育てのイライラとうまく付き合う親になろう いのちの教室 子育てのイライラとうまく付き合う親になろう 絵本の果たす役割 いのちの教室 子どものほめ方、叱り方 子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター 6名	保護者・職員10名 保護者・職員18名 保護者32名 保護者17名 保護者14名 保護者・職員5名 保護者17名 保護者14名 保護者・職員9名 保護者22名 保護者・職員8名 保護者6名 児童・保護者50名 保護者28名 児童54名 保護者・職員12名 保育士80名 児童・保護者44名	約500名	約500名	【午後の部】 高平慎士氏(2008北京オリンピック 4×100mリレー銀メダリスト) 杉谷孝士氏(元北海道日本ハムファイターズ) 【午後の部】 ・著名アスリートによるトークショー
⑤「学習相談・学習支援」検討会	「学習相談・学習支援」検討会	令和5年11月21日	高知県心の教育センター2F研修室	「地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業」の事業内容説明及び実施状況 高等学校卒業程度認定試験について→高知県の現状 ・若者サポートステーション利用者実施状況 各市町村の生活保護受給世帯数について 意見交換→学習相談・学習支援に関する具体的方策 ・高等学校卒業程度認定試験 ・支援対象者の誘導 ・高校中退から就労に至るまでの間に必要な支援 ・支援における関係機関の連携 ・事業成果の評価検証 など	若者サポートステーション所長等	8名	-	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・参加者(10名[当課事務局2名含む]) 教育委員会事務局高等学校課1名 同人権教育・児童生徒課1名 県子ども・福祉政策部地域福祉政策課2名 同子ども家庭課1名、同福祉指導課1名 各若者サポートステーション2名 ・各若者サポートステーションによる支援状況の理解促進と各課の事業展開における連携を図ることができた。 ・10月末実績(若者サポートステーション) 前年度末在籍利用者 74名 新規登録者 59名 学習相談 560件、実人数 99名 学習支援 303件、実人数 35名 アウトリーチ 100件、実人数 35件 就労 28名(正規0、非正規 28、職業訓練2) 修学 9名(進学3、復学3、高卒認定3)	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・参加予定者のうち、2名が欠席。出席者増に向けた慎重な日程調整が必要 ・支援対象者の誘導のため、学校から中途退学者情報を収集する「若者はばけネット」を含め、周知活動を継続 ・他課より紹介のあった支援制度を有効活用 ・次年度においても、労働、福祉部局等との連携・協働する推進体制の構築に努めるため、年1回、実施する方向

## 事業概要

平成29年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、これまで任意であった学校運営協議会の設置が努力義務となったことを受け、各市町村(学校組合)教育委員会に対し、所管の小中学校への学校運営協議会の設置に関する効果的な支援を行うことで、学校と地域の連携・協働による教育活動の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」を推進する。

## 期待される効果

- 保護者や地域住民等が学校運営に参画することで、地域全体で子どもたちを見守り育てる体制が構築され、教員が子どもとしっかり向き合う時間の確保につながるなど、学校と地域との協働体制が確立される。
- 地域住民を中心に人材の発掘・確保につながり、地域学校協働本部等との一体的な推進により学校の教育活動及び体制の充実につながる。

## 現状・課題

○本県でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入率は37.9%(27市町村教育委員会、107校)であり、地域学校協働本部整備を導入している学校の割合(95.7%)に対して低い。

【コミュニティ・スクール導入校数】(令和3年9月現在)

・小学校:67校、中学校:40校、義務教育学校:2校

○コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入状況

・「運営協議会の設置済及び2022年度中に設置予定・検討と回答した学校数」216校(76.6%)

・「運営協議会の設置済及び2023年度中に設置予定・検討と回答した学校数」265校(94.0%)

(「2021年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査について」文部科学省調査より  
(令和3年9月現在))

## 事業目標

○2023(令和5)年度までに全ての市町村(学校組合)教育委員会において、管内の小中学校にコミュニティ・スクールが導入される。

○地域学校協働本部等との協働による学校運営の工夫・改善の実践を県内に広く普及する。

【検証方法】「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査について」  
(文部科学省調査)

## 実施内容

### (1) コミュニティ・スクール推進事業費補助金

目的：域内全小中学校に学校運営協議会を設置する

補助率：国1/3 県1/3 市町村1/3

#### \*補助対象

- ①コミュニティ・スクール推進協議会の設置等経費
- ②コミュニティ・スクールの運営や学校種間調整、分野横断的な活動の総合調整など総括的な立場で調整等行う人材(CSディレクター)経費
- ③先進校視察や研修会等の実施にかかる経費

### (2) 他課、高知市との連携による推進体制の構築

生涯学習課・  
高等学校課・  
幼保支援課・  
高知市等

◆コミュニティ・スクールの導入推進に向けて管理職及び教職員等への研修会の実施(1回)

◇設置に関する計画・立案

◆市町村担当者への説明会の実施(オンライン)

・コミュニティ・スクール未導入の市町村への情報発信・周知

◆指導主事等訪問

◆各研修会や協議会等への相互参加(随時)、各課合同担当者会の実施(年間6回)

R1 人材育成・設置計画

R2 人材育成・体制整備

R3 全市町村で導入あるいは導入の検討

R5 全ての小中学校に導入

市町村  
教育委員会

- 協議会の設置
- 委員の任命
- 適正な運営を確保

意見を反映

意見



保育園 幼稚園

学校運営協議会

地域学校協働本部等

コミュニティ・スクール  
(学校運営協議会制度を導入した学校)

(委員) 保護者代表・地域住民、  
地域学校協働活動推進員など



学校運営協議会

学校運営や必要な支援に関する協議

コーディネーター

一体的な推進



・地域ぐるみで子供の育ちを支援するしくみ

地域学校協働活動

- ・校長のリーダーシップを応援
- ・地域のニーズに応える学校づくり

放課後等  
学習支援



地域学校協働活動推進員

全ての学校で地域とともにある学校づくりを展開

	市町村名	小学校 (181校)	中学校 (92校)	義務教育学校 (4校)
東部	東洋町 (4校) ※	甲浦小 (R2) 野根小 (R2)	甲浦中 (R2) 野根中 (R2)	
	室戸市 (6校)	佐喜浜小 (R4) 吉良川小 (R5) 羽根小 (R5)	佐喜浜中 (R4) 吉良川中 (R5) 羽根中 (R5)	
	奈半利町 (2校) ※	奈半利小 (R3)	奈半利中 (R3)	
	北川村 (2校) ※	北川小 (R2)	北川中 (R2)	
	馬路村 (4校) ※	魚梁瀬小 (R4) 馬路小 (R5)	魚梁瀬中 (R4) 馬路中 (R5)	
	安田町 (2校) ※	安田小 (R3)	安田中 (R3)	
	安芸市 (8校)	赤野小 (H28) 下山小 (R5) 伊尾木小 (R5) 川北小 (R5) 井ノ口小 (R5) 土居小 (R5) 安芸第一小 (R5) 穴内小 (R5)		
	芸西村 (2校)	芸西小 (R5)	芸西中 (R5)	
	香南市 (11校) ※	赤岡小 (H30) 野市小 (H31) 夜須小 (R3) 香我美小 (R3) 吉川小 (R3) 野市東小 (R3) 佐古小 (R3)	赤岡中 (H31) 夜須中 (R3) 香我美中 (R3) 野市中 (R3)	
	香美市 (10校) ※	片地小 (H28) 大栃小 (H29) 舟入小 (H30) 楠目小 (H30) 香長小 (H30) 大宮小 (H30) 山田小 (H31)	大栃中 (H29) 香北中 (H30) 鏡野中 (H31)	
中部	南国市 (17校) ※	奈路小 (H19) 白木谷小 (H25) 長岡小 (H31) 後免野田小 (R2) 岡豊小 (R2) 久礼田小 (R3) 大湊小 (R4) 国府小 (R4) 稲生小 (R5) 三和小 (R5) 大篠小 (R5) 十市小 (R5) 日章小 (R5)	鳶ヶ池中 (H30) 香南中 (R3) 香長中 (R4) 北陵中 (R4)	
	大豊町 (1校) ※			大豊学園 (R4)
	本山町 (3校) ※	吉野小 (R3) 本山町 (R4)	嶺北中 (R4)	
	土佐町 (2校) ※	土佐町小 (H25.4.1)	土佐町中 (H25.4.1)	
	大川村 (1校) ※			大川小中 (R4)

いの町（12校）※	伊野南小（H25） 神谷小（H27） 伊野小（R2） 川内小（R2） 枝川小（R3） 吾北小（R4） 長沢小（R4）	伊野南中（H27） 神谷中（H27） 伊野中（R3） 吾北中（R4） 本川中（R4）	
仁淀川町（5校）※	池川小（R3） 別府小（R3） 長者小（R3）	池川中（R3） 仁淀中（R3）	
土佐市（12校）※	宇佐小（R5） 新居小（R5） 高石小（R5） 高岡第一小（R5） 高岡第二小（R5） 蓮池小（R5） 波介小（R5） 北原小（R5） 戸波小（R5）	土佐南中（R5） 高岡中（R5） 戸波中（R5）	
須崎市（13校）※	安和小（H29） 吾桑小（R3） 浦ノ内小（R4） 多ノ郷小（R5） 南小（R5） 須崎小（R5） 新荘小（R5） 上分小（R5）	朝ヶ丘中（R2） 浦ノ内中（R4） 南中（R5） 須崎中（R5） 上分中（R5）	
日高村（3校）※	日下小（H25） 能津小（H30）	日高中（H25）	
佐川町（6校）※	佐川小（R3） 斗賀野小（R3） 黒岩小（R3） 尾川小（R3）	佐川中（R3） 尾川中（R3）	
越知町（2校）※	越知小（H27）	越知中（H27）	
津野町（5校）※	葉山小（H28） 中央小（H31） 精華小（R3）	東津野中（H31） 葉山中（R3）	
梶原町（2校）※	梶原小（H28）	梶原中（H28）	
中土佐町（5校）※	久礼小（H27） 大野見小（H27） 上ノ加江小（H27）	久礼中（H19） 大野見中（H22）	
四万十町（10校）	米奥小（H21） 影野小（H28） 仁井田小（R5） 七里小（R5） 窪川小（R5） 川口小（R5） 十川小（R5）	窪川中（R5） 大正中（R5） 十川中（R5）	
日高佐川町学校組合 （2校）※	加茂小（R5）	加茂中（R5）	

西部	黒潮町（9校）※	拳ノ川小（H19） 三浦小（H28） 田ノ口小（H28） 南郷小（H31） 入野小（H31） 佐賀小（R2） 上川口小（R2）	佐賀中（R2） 大方中（R2）	
	四万十市（17校）	中筋小（R4） 西土佐小（R4） 下田小（R5） 竹島小（R5） 藤岡小（R5） 大用小（R5） 利岡小（R5） 中村小（R5） 八束小（R5） 具同小（R5） 東山小（R5） 東中筋小（R5）	西土佐中（H27） 中村中（R5） 中村西中（R5） 下田中（R5） 大用中（R5）	
	三原村（2校）※	三原小（H31）	三原中（H31）	
	土佐清水市（7校）※	下ノ加江小（R4） 幡陽小（R4） 足摺岬小（R4） 清水小（R4） 三崎小（R4） 下川口小（R4）	清水中（R4）	
	大月町（2校）※	大月小（R4）	大月中（R4）	
	宿毛市（14校）※	宿毛小（H23） 小筑紫小（R3） 橋上小（R3） 山奈小（R3） 平田小（R3） 大島小（R5） 威陽小（R5） 沖の島小（R5）	小筑紫中（R3） 橋上中（R3） 片島中（R5） 沖の島中（R5） 宿毛中（R5） 東中（R5）	
高知市	高知市（58校）※	（R4） 江ノ口小 第四小 鴨田小 潮江南小 鏡小 春野東小 春野西小 （R5） 江陽小 昭和小 はりまや橋小 初月小 小高坂小 一ツ橋小 秦小 第六小 介良小 旭東小 泉野小 久重小 布師田小 一宮小 一宮東小 三里小 十津小 長浜小 浦戸小 五台山小 高須小 朝倉第二小 朝倉小 旭小 横内小 大津小 潮江小 潮江東小 横浜小 横浜新町小 介良潮見台小 神田小	愛宕中（H26） 潮江中（H26） 朝倉中（R4） 旭中（R4） 鏡中（R4） 春野中（R4） 大津中（R5） 西部中（R5） 横浜中（R5） 介良中（R5） 城東中（R5） 城北中（R5） 城西中（R5） 一宮中（R5） 三里中（R5） 南海中（R5） 青柳中（R5）	土佐山学舎 （H28） 行川学園 （H28）

- ※は、域内全小・中学校をコミュニティ・スクールとしている市町村
- 下線のある学校は、令和5年度にコミュニティ・スクール導入
- 太字のものは前回の推進委員会後にコミュニティ・スクールを導入した学校



## 令和5年度 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入予定

	市町村名	令和5年度 学校数	(R5・11月現在 学校運営協議会 導入済)	R5年度末見込み	R6年度 以降	備考
1	東洋町	4	4	4	4	
2	室戸市	9	6	9	9	
3	奈半利町	2	2	2	2	
4	北川村	2	2	2	2	
5	馬路村	4	4	4	4	
6	田野町	2	0	2	2	
7	安田町	2	2	2	2	
8	安芸市	10	8	8	9	
9	芸西村	2	2	2	2	
10	香南市	11	11	11	11	
11	香美市	10	10	10	10	
12	南国市	17	17	17	17	
13	大豊町	1	1	1	1	
14	本山町	3	3	3	3	
15	土佐町	2	2	2	2	
16	大川村	1	1	1	1	
17	いの町	12	12	12	12	
18	仁淀川町	5	5	5	5	
19	土佐市	12	12	12	12	
20	須崎市	13	13	13	13	
21	日高村	3	3	3	3	
22	佐川町	6	6	6	6	
23	越知町	2	2	2	2	
24	津野町	5	5	5	5	
25	梶原町	2	2	2	2	
26	中土佐町	5	5	5	5	
27	四万十町	15	10	13	14	
28	日高佐川学校組合	2	2	2	2	
29	黒潮町	9	9	9	9	
30	四万十市	18	17	18	18	
31	三原村	2	2	2	2	
32	土佐清水市	7	7	7	7	
33	大月町	2	2	2	2	
34	宿毛市	14	14	14	14	
35	高知市	58	58	58	58	
	合計	274	261	270	272	

95.3%

98.5%

99.3%

## 高知県地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業

### 資料



提供：高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 元会長 山下正和 氏

# 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業



文部科学省

学校、通学路の安全確保に向け、昨今の児童生徒の尊い命を奪う交通事故・事件の発生も踏まえ、スクールガード・リーダー増員による見守りの充実や、スクールガード等のボランティアの養成・資質向上を促進することにより、警察や保護者、PTA等との連携の下で見守り体制の一層の強化を図る。

■実施主体:都道府県及び市町村 ■補助率:国庫補助率1/3、都道府県・市町村各1/3 ※市町村直接実施の場合2/3負担

## スクールガード・リーダーの育成支援

- スクールガード・リーダーの資質を備えた人材（警察官OB・教職員OB・防犯協会役員等）に対する育成講習会の実施

## スクールガード・リーダーに対する活動支援

- スクールガード・リーダーによる指導、見守り活動に対する謝金、各学校を定期的に巡回するための旅費等の補助
- 学校等の巡回活動等を円滑にするためにスクールガード・リーダーの連絡会等の開催を支援、装備品の充実

スクールガード・リーダー育成講習会、スクールガード養成講習会の開催に係る経費を補助し、**見守りの人材確保と質の向上**



## スクールガード（ボランティア）の養成・資質向上

- 通学路で子供たちを見守るスクールガードの防犯に対する知識、非常時の対応策等を身に付けさせるための養成講習会を実施
- 活動の参考となる資料を配布することによる見守りの質の向上

## スクールガード増員による見守りの強化及び活動に対する支援

- 「登下校防犯プラン」等に基づく、登下校時のパトロールや地域の連携の場構築など防犯活動への支援
- 子供の見守り活動に係る帽子や腕章などの消耗品費、ボランティア保険料の補助

スクールガード・リーダーがスクールガードに対して、**見守り活動・警備上のポイントや不審者対応等について指導・助言**

地域ぐるみで子供の安全を守る体制構築

# 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金

補助率：国・県・市町村各1/3 \* 中核市除く市町村が対象 市町村による直接実施の場合は、国1/3・市町村2/3

## ◎ 次の①～③の事業を単独実施でも複数実施でも可

事業名	事業内容	補助対象経費	経費に係る留意事項	R5年度の状況
① スクールガード・リーダーによる学校や通学路(スクールバスの乗車時を含む)巡回指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察官OBや教職員OB、地域安全活動の中心として活動している者等をスクールガード・リーダーとして委嘱する。</li> <li>・スクールガード・リーダーは、各学校を定期的に巡回し、警備のポイント、改善すべき点などの指導や、スクールガード(学校安全ボランティア)に対する指導等を行う。</li> <li>・スクールガード・リーダーの配置人数、対象とする範囲については、各地域の実情に応じて決めることができることとするが、小学校5校に対して1名程度の割合を原則とする。</li> <li>・なお、巡回指導等の対象校については、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校等も対象とすることができる。</li> </ul>	報償費	<p>【スクールガード・リーダーの巡回指導経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費のみ。1日2時間以上の活動、5千円を上限とする。</li> <li>・スクールガード・リーダーの活動日数については、年間120日以内とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・22市町村で実施</li> <li>・スクールガード・リーダー43名に委嘱</li> </ul>
② スクールガード養成講習会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガードを養成するための講習会を開催する。</li> <li>・なお、開催に当たっては、多くの方々が参加することができるよう、開催場所、開催回数等に配慮するものとする。</li> </ul>	報償費(講師謝金)旅費、使用料及び賃借料(会場借上料)、需用費(印刷製本費、消耗品費)、役務費(通信運搬費)	<p>【スクールガード養成講習会の開催経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールガード養成講習会の開催経費については、10万円を上限とする。</li> <li>・ただし、スクールガードに対する報償費、旅費は対象外とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸市で実施</li> </ul>
③ スクールガード等の増員のための活動及び学校安全活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールガード等を増員するための広報活動等の施策を実施する。</li> <li>・学校安全のために、学校安全ボランティア等を活用しつつ、例えば、登下校時におけるパトロール、防犯・防災訓練の実施、地域安全マップの作成等、学校・家庭・地域が一体となり子どもの安全に関する取組を実施する。</li> </ul>	報償費(講師謝金)旅費、使用料及び賃借料(会場借上料)、需用費(印刷製本費、消耗品費)、役務費(通信運搬費)	<p>【学校安全活動経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帽子や腕章など見守り活動に活動に直接必要な経費及び家庭や地域の関係機関・団体と連携の場の構築に必要な経費とし、1市町村につき30万円を上限とする。ただし、スクールガードに対する報償費及び旅費は、原則として対象外とする。</li> <li>・なお、消耗品費等については、学校やPTAが使用するものと明確に区別すること。</li> <li>・スクールガード・リーダーやスクールガード等の装飾品(さすまた、防刃ベスト・グローブ等)を対象とすることができる。</li> <li>・備品購入費は、対象外とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸西村、南国市、いの町、大月町で実施</li> </ul>

◎ スクールガード(学校安全ボランティア)組織が未設置の学校は、特に、上記②③の事業を活用した取組の検討をお願いします。

《お問い合わせ先》 高知県教育委員会事務局 学校安全対策課 学校安全担当 TEL 088-821-4533

令和5年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 スクールガード・リーダー活動表

	担当地域 (市町村等)	巡回等 学校数	巡回等 うち 小学校	拠点校(部署)	巡回担当予定校(園)	教育委員会			
						担当部署	担当者	連絡先 (tel・fax)	
1	1	室戸市	4	2	室戸市 教育研究所	室戸市教育委員会 学校教育課	高崎 正太	tel 0887-22-5141 fax 0887-22-1120	
2			5	3					元小、吉良川小、羽根小、吉良川中、 羽根中
3	2	安芸市	4	2	安芸市 少年育成 センター	安芸市 少年育成センター	仙頭 幹夫	tel 0887-35-1020 fax 0887-35-1051	
4			3	3					川北小、土居小 清水ヶ丘中、安芸中 下山小、伊尾木小 井ノ口小
5			3	3					赤野小、穴内小 安芸第一小
6	3	東洋町	2	1	野根小学校	東洋町教育委員会	大坪 靖幸	tel 0887-29-3037 fax 0887-24-3102	
7			2	1	野根中 甲浦小学校 甲浦中				
8	4	奈半利町	1	1	奈半利町 教育委員会	奈半利町教育委員会	市川 伊代	tel 0887-38-8188 fax 0887-38-8166	
9	5	北川村	2	1	北川村 教育委員会	北川村教育委員会	大西 貴美子	tel 0887-32-1223 fax 0887-32-1132	
10	6	安田町	2	1	安田町 教育委員会	安田町教育委員会	山本 祥平	tel 0887-38-6714 fax 0887-38-6717	
11	7	芸西村	4	1	芸西村 教育委員会	芸西村教育委員会	岡村 まきみ	tel 0887-33-2400 fax 0887-32-2014	
12			4	1					芸西小、芸西中、 芸西幼稚園、芸西保育所、 芸西小、芸西中、 芸西幼稚園、芸西保育所、
13	8	香南市	5	3	香南市 教育委員会	香南市教育委員会 学校教育課	杉村 知代	tel 0887-50-3019 fax 0887-50-3020	
14			6	4					佐古小、香我美小、夜須小、 夜須中、香我美中 赤岡小、野市小、野市東小、 吉川小、赤岡中、野市中
15	9	南国市	4	4	南国市 教育委員会	南国市教育委員会 学校教育課	岩見 賢児	tel 088-880-6568 fax 088-880-6201	
16			4	4					岡豊小、久礼田小、国府小、 奈緒小 後免野田小、長岡小、日章小、 大湊小
17			4	4					大蔵小、三和小、稲生小、 十市小
18			1	1					白木谷小
19	10	大豊町	1	1	大豊町 教育委員会	大豊町教育委員会 人づくり班	宮岡 佐知子	tel 0887-72-1031 fax 0887-72-1032	
20	11	いの町	3	2	いの町 教育委員会	いの町教育委員会	戸田 友紀	tel 088-893-1922 fax 088-893-2121	
21	12	土佐市	6	4	土佐市 少年育成 センター	土佐市 少年育成センター	金澤 奈月	tel 088-852-7696 fax 088-852-5241	
22			6	5					土佐南中、新居小、高石小、高岡第一 小、高岡中、宇佐小 高岡第二小、蓮池小、波介小、北原 小、戸波小、戸波中
23	13	須崎市	7	4	多ノ郷小学校	須崎市教育委員会 学校教育課	松本 佐和	tel 0889-42-5291 fax 0889-40-0073	
24			6	4	須崎小学校 上分小、新荘小、安和小、須崎小 上分中、須崎中				
25	14	日高村	5	3	日高村教育委員会 教育支援室	日高村教育委員会 教育支援室	坂本 佐織	tel 0889-24-5115 fax 0889-20-1572	
26	15	梶原町	2	1	梶原学園	梶原町教育委員会 生涯学習課	山下 三千恵	tel 0889-65-1350 fax 0889-40-2055	
27	16	四万十町	4	4	四万十町 少年補導 センター	四万十町教育委員会 生涯学習課	中村 良輔	tel 0880-22-3576 fax 0880-29-0073	
28			4	4					東又小、影野小、仁井田小、興津小 川口小、窪川小、七里小、米奥小
29			4	4					田野々小、昭和小、十川小、 北ノ川小
30	17	四万十市	4	3	具同小学校	四万十市教育委員会 学校教育課	稲田 智洋	tel 0880-34-5445 fax 0880-34-4271	
31			5	4	具同小、中筋小、東中筋小 中村西中 中村南小、竹島小、下田小、 八束小、下田中				
32			2	1	西土佐小学校				西土佐小、西土佐中
33			5	3	東山小学校				東山小、大用小、藤岡小、大用中 中村中
34	3	2	中村小学校	中村小、利岡小 中村中					
35	18	土佐清水市	3	2	土佐清水市 少年補導 センター	土佐清水市 少年補導センター	永野 博文 奥谷 博史	tel 0880-82-3501 fax 0880-83-0782	
36			4	4	清水小、足摺岬小 清水中 三崎小、幡陽小、下川口小、 下ノ加江小				
37	19	宿毛市	4	4	宿毛市 青少年育成 センター	宿毛市教育委員会 学校教育課	山岡 理奈	tel 0880-62-1246 fax 0880-62-1272	
38			4	4	宿毛小、橋上小、平田小、 山奈小 宿毛小、大島小、威陽小、 小筑紫小				
39	20	黒潮町	3	2	黒潮町 こどもサポート センター	黒潮町教育委員会 生涯学習課	今西 ひとみ	tel 0880-43-0044 fax 0880-43-1144	
40			6	5	拳ノ川小、佐賀小 佐賀中 上川口小、南郷小、入野小、 三浦小、田ノ口小、大方中				
41	21	三原村	2	1	三原村 教育委員会	三原村教育委員会 学校教育課	藤本 信吾	tel 0880-46-2559 fax 0880-46-2560	
42	22	大月町	2	1	大月小学校	大月町教育委員会	岡田 倫幸	tel 0880-73-1118 fax 0880-73-1815	
43			2	1					大月小 大月中
2.2市町村		計 43人	157	113					

## 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

### 学校安全対策課

#### 事業目的

子供たちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における子供の安全を確保するため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図り、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。

#### 事業内容

- (1) スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバスの乗降時も含む）の巡回指導等の実施
- (2) スクールガード（学校安全ボランティア）養成講習会の開催
- (3) スクールガード等の増員のための活動の実施及び学校安全活動の実施

#### 令和5年度の実績（R6.1.22 現在）

○高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 市町村担当者会の開催

- ・日時：令和5年5月24日（水） オーテピア高知図書館 4階 研修室
- ・目的：地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備するため、スクールガード・リーダーの活動内容等について、事業の趣旨の共有及び情報交換を行い、活動の充実を図る。

○「スクールガード・リーダーの活動内容リーフレット（学校安全対策課作成）」を各リーダーに送付

○「登下校見守り活動ハンドブック（文部科学省）」を各市町村に配付

○学期末毎に、事業実施市町村から提出される「スクールガード・リーダー活動報告書（写し）」からリーダーの活動内容を把握、必要に応じて市町村に聞き取り



※年度末に、事業実施各市町村から「実績報告書」の提出があり、実績及び成果と課題を確認する予定

#### これまでの成果と課題（市町村実績報告書より）

##### 【成果】

〔スクールガード・リーダーによる巡回指導等の実施〕

- ・児童の登下校時における校区内の巡回・見守り活動等の安全指導を行い、地域全体で学校安全に取り組む体制を整えることができた。校区内の保護者や地域住民による見守り隊と連携を図りながら、見守り時の注意点についての指導を行うことができた。
- ・学校と地教委とスクールガード・リーダー（School Guard Leader 以下「SGL」）が連携しながら児童生徒の見守り活動を行うことができた。SGLから登下校中の児童生徒の様子や通学路の状況、見守り時の注意点等を情報提供してもらうことで学校での安全指導に生かすことができた。

- ・ S G Lを中心とした学校内外の巡回や見守り、各学校の交通安全教室等や各種行事への参加により、地域、学校、子どもたちとの信頼関係が築けており、子どもの安心・安全のための地域づくりにつながった。登下校時に S G Lが子どもたちに声かけ等を実施したことで、子どもたち自身に見守ってもらっているという安心感を与えることができた。
- ・ S G Lの必要性が学校、地域で認識され、地域による学校見守り活動が充実するとともに、不審者情報の収集に一定の効果が現れている。不審者情報は警察との共有を図っており、不審者事案発生時には連携して巡回に当たるなどの対応が取れている。

#### [学校安全活動]

- ・ 各小中学校区での児童の見守り、声掛け、挨拶運動、学校行事への協力など、地域の実情に即した幅広い活動を実施することで、地域の見守り活動として定着しつつある。

#### 【課題】

##### [スクールガード・リーダーによる巡回指導等の実施]

- ・ S G L不在時の児童・生徒の安全確保方策等の検討が必要である。
- ・ S G Lと交通安全協会、地域の見守り隊等の見守り活動における役割分担を明確にし、児童の安全を見守る体制の強化につなげることが必要である。
- ・ S G Lの人材が不足している。

##### [学校安全活動]

- ・ 地域に根差した活動を継続するために、新規見守りボランティア会員募集や、会員同士の情報交換や各小中学校と連携した活動内容の充実が課題である。各小中学校区の状況について聞き取り等で把握し、会員と各小中学校が連携した活動につなげていくような体制づくりが必要である。

#### 取組状況調査より

- ・ スクールガード（学校安全ボランティア）等の見守り実施状況（P T Aの見守り活動を含む）は、平成26年度以降は小学校において100%となっている。今後は、見守り活動が組織的に行われるよう取り組む必要がある。

#### 今後に向けて

- ・ 「登下校防犯プラン」に基づき、組織的な見守り活動実施や児童生徒の安全確保の強化に向けて、事業未実施市町村に本事業の活用を今後も働きかけていく。特に、地域学校協働活動の見守り活動に係る経費を本事業から補助できることを市町村に周知する。また、S G Lの活動に加えてスクールガード（学校安全ボランティア）の養成やながら見守り活動の有用性を改めて周知し、取組が拡充するよう働きかけていく。
- ・ S G Lや市町村担当者に見守りの視点をより深く理解していただき、日々の取組に生かせるよう、市町村担当者会等の研修内容を充実させていく。

## 令和5年度 高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 開催要項

### 1 趣 旨

地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備するため、スクールガード・リーダーの活動内容や見守り活動の充実に向けて、高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の趣旨の共有及び情報交換を行い、取組の充実を図る。

2 主 催 高知県教育委員会

3 日 時 令和5年5月24日（水） 14：00～16：00

4 会 場 オートピア高知図書館 4階 研修室  
（高知市追手筋2-1-1 TEL：088-823-4946）  
※会場地図は別紙に記載

5 参加対象 令和5年度高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業  
市町村教育委員会事業担当者及びスクールガード・リーダー

### 6 日程及び内容

#### 〈日程〉

14:00	14:10	14:30	15:00	15:10	15:45	15:55	16:00
開会	説明 (県教委から)	講話 (県警から)	休憩	グループ協議	発表 (各グループ)	閉会	
	(20分)	(30分)	(10分)	(35分)	(10分)		

#### 〈内容〉

- ①説 明 「高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の趣旨について」  
「スクールガード・リーダーの活動や見守り活動の充実に向けて」  
高知県教育委員会事務局 学校安全対策課
- ②講 話 「不審者情報の状況と見守りのポイント」  
高知県警察本部 生活安全部 人身安全対策課
- ③グループ協議 「各市町村における取組や課題について情報共有」  
(例)  
・見守り活動に携わるスクールガード（学校安全ボランティア）を増やすために  
・効果的なスクールガード・リーダーの活動にするために 等



# スクールガード・リーダー活動中～子どもたちを守るために～（案）

スクールガード・リーダーは、子どもたちが安全に安心して学校で教育が受けられるよう、学校や通学路における子どもの安全を確保するため、学校の内外を巡回してくれています。また、学校やスクールガード（学校安全ボランティア）に対する指導助言も行ってくれています。

現在、県内の22市町村において、43名の方がスクールガード・リーダーとして活動されており、担当区域内の小学校などを巡回し、不審者侵入を防ぐための点検、通学路における見守り活動と危険箇所の点検・報告、学校行事における警戒のほか、学校の防犯教室や防犯訓練への参加などの様々な活動を行っています。子どもたちの安全を守るための重要な役割を担っているスクールガード・リーダーの活動へのご理解とご協力をお願いします。

～スクールガード・リーダー、スクールガードの活動状況を一部紹介！～



今日も子どもたちが安全に、安心して学校生活を送れるように...

黒潮町 スクールガード・リーダー 國友 積さん

黒潮町 スクールガード・リーダー 大石 正幸さん



香南市 スクールガード・リーダー 野村 清さん

いの町 スクールガード・リーダー 石川 直正さん



南国市 スクールガード 高村 循朗さん

南国市 スクールガード 濱田 治之輔さん

□ 暮らしネットkochi編集・発行者  
高知県文化生活スポーツ部 県民生活課

□ 安全安心まちづくりニュース編集・発行者  
高知県安全安心まちづくり推進会議

□ 問い合わせ先  
高知県文化生活スポーツ部 県民生活課  
〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号  
TEL 088-823-9653(暮らしネットkochi) FAX 088-823-9879  
088-823-9319(安全安心まちづくり)  
E-mail:141601@ken.pref.kochi.lg.jp

令和5年度 事業別・市町村別 実施一覧

資料3

R6.1.31 現在

市町村名	地域学校協働活動						新・放課後子ども総合プラン(小学校)		家庭教育支援事業	外部人材を活用した教育支援活動事業
	本部数	実施学校数					児童クラブ	子ども教室		
		小学校	中学校	義務教育学校	高校	その他(幼・保)				
1 室戸市	6	5	4			1	2	4		
2 安芸市	10	8	2				5	9		
3 南国市	17	13	4				18	3		
4 土佐市	11	9	3				7	7	○	
5 須崎市	10	8	5				6	5	○	
6 宿毛市	11	8	6				3	5	○	
7 土佐清水市	1	6	1				1	6	○	
8 四万十市	15	13	5				14	8		
9 香南市	9	7	4				12	3		
10 香美市	9	7	3			1	10	3	○	○
11 東洋町	1	2	2					1		
12 奈半利町	1	1	1				1	1		
13 田野町	1	1	1					1	○	
14 安田町	1	1	1					2		
15 北川村	1	1	1					1	○	
16 馬路村	1	2	2					1	○	
17 芸西村	1	1	1			2	1	1	○	
18 本山町	1	2	1				1	2		
19 大豊町	1			1				3		
20 土佐町	1	1	1					1	○	
21 大川村	1			1				1	○	
22 いの町	8	7	5				8	3	○	
23 仁淀川町	1	3	2					3	○	
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2		
25 佐川町	5	4	2				3	3		
26 越知町	1	1	1				1		○	
27 橋原町	1	1	1					1		
28 日高村	1	2	1				1	2	○	
29 津野町	2	3	2					3	○	
30 四万十町	15	12	3				1	12	○	
31 大月町	1	1	1					1		
32 三原村	1	1	1					1		
33 黒潮町	1	7	2					4		
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1			
35 高知市	47(58)	35(4)	10(7)	2			89	41		
36 県立	9				9					
<b>事業実施合計</b>	<b>206</b>	<b>176</b>	<b>81</b>	<b>4</b>	<b>9</b>	<b>13</b>	<b>186</b>	<b>144</b>	<b>17</b>	<b>1</b>
<b>合計</b>	<b>(218)</b>	<b>(181)</b>	<b>(89)</b>	<b>4</b>	<b>9</b>	<b>13</b>	<b>186</b>	<b>144</b>	<b>17</b>	<b>1</b>

※地域学校協働活動の( )内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校7校、国の示す本部の3要件を満たす高知市の学校4校及び一財対応の学校組合2校を含む。

## 令和6年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画

## 1. 事業の総合的なねらい

地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、学校に対する多様な協力活動や、学習活動等を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る取組、放課後等に子どもたちの安全・安心な活動場所を確保して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後等支援、また保護者への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援等を実施し、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

## 2. 重点取組

- (1) 市町村担当者、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、学習支援員、協働活動支援員、協働活動サポーター、特別支援・共生サポーター、放課後児童支援員等の資質向上を目的とした各種の研修会を開催し、情報交換・共有の場とする。
- (2) 各教育事務所及び高知市に配置している学校地域連携推進担当指導主事とともに、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の設置促進と活動内容の充実を図る。
- (3) 子どもたちの見守り機能をさらに発揮するため、より多く、より幅広い層の地域住民や団体等に、きめ細かく密接に関わっていただく形をつくるなど、学校と地域がパートナーとして子どもたちを見守り育てる高知県版地域学校協働本部の取組を推進する。
- (4) 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」の普及・啓発を図るとともに、ファシリテーターを養成する研修会を実施する。
- (5) 事業実施市町村へのヒアリングやアンケート等により、事業の効果や課題について調査を行い、事業を検証するとともに、市町村が実施する運営委員会や研修会に参加し、円滑な事業運営を支援する。
- (6) 若者サポートステーションの修学・就労支援により、高等学校未卒の若者（20歳から39歳及び市在住の15歳から19歳）の社会的自立を推進する。

## 3. 事業計画

## (1) 推進委員会

時期	内 容
11月上旬	・令和5年度事業報告      ・令和6年度中間報告 等
1月下旬～ 2月上旬	・令和6年度事業報告      ・令和7年度事業計画 等

## (2) 研修会等

## ①全体研修

時期	内 容
6～7月	高知県地域学校協働活動研修会（全体研修会） ・講演、実践発表、意見交換 等

未定	高知県地域学校協働活動研修会（ブロック別研修会） ※西部・中部・東部・高知市 ・実践発表、意見交換 等
6～12月 (予定)	地域コーディネーター研修会 ※3会場で各1回（西部・中部・東部） ・講演、実践発表、ワークショップ、意見交換等
2月	第9回高知県社会教育実践交流会 ・実践発表、パネルディスカッション、交流タイム 等

②新・放課後子ども総合プラン推進事業に係る支援員等研修

■新・放課後子ども総合プラン推進事業に係る資質向上研修 ※東部、中部、西部地区別に開催

- ・安全・防災（6月）
- ・実践発表会（9月）
- ・子どもの発達障害等の理解促進研修会（12月）
- ・防犯（1月）

※時宜を得た研修の必要性が生じた場合は、テーマの変更または追加で1テーマ実施

■放課後児童支援員認定資格研修（10月～12月）

- ・年1回（1回あたり16科目24時間、計4日間の連続講座）

■子育て支援員研修 放課後児童コース（9月）

- ・年1回（6科目9時間、計2日間の連続講座）

③「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した家庭教育支援を行うファシリテーター養成研修会及び講座の開催

- ・段階的なファシリテーター養成（基礎編・活用編・実践編）
- ・保育所や地域子育て支援センター等での講座の開催…ファシリテーター認定者の派遣

④「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2024」の開催

子供たちの基本的な生活習慣の維持・向上、定着の重要性を伝え、地域一丸となった取組をより一層促進させるために「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2024」実施予定

⑤「『学習相談・学習支援』検討会」の開催

- ・若者サポートステーションについての理解促進（支援状況等）
- ・教育委員会や福祉部局、労働関係部局等との連携・協働する推進体制の構築に努める

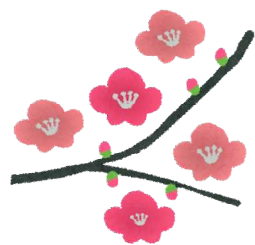
(3) その他

- ・高知県版地域学校協働本部への展開に向けた実施校における取組
  - 3要件①充実した地域学校協働活動の実施
    - ②学校と地域との定期的な協議の場の確保
    - ③民生・児童委員の参画による見守り体制の強化
- ・県小中学校長会や県民生委員・児童委員協議会連合会総会、社会教育関係団体等との協力支援体制の強化や地域学校協働本部実践ハンドブックや事例集等の活用により、地域学校協働本部の活動の充実、質の向上に取り組む
- ・地域学校協働本部事業及び新・放課後子ども総合プラン推進事業（放課後子ども教室、放課後児童クラブ）に関する取組状況調査の実施（6～10月頃）

市町村名	地域学校協働活動						新・放課後子ども総合プラン(小学校)		家庭教育支援事業
	本部数	実施学校数					児童クラブ	子ども教室	
		小学校	中学校	義務教育学校	高校	その他(幼・保)			
1 室戸市	6	5	4			1	2	4	○
2 安芸市	9	8	1				5	9	
3 南国市	17	13	4				19	3	
4 土佐市	11	9	3				7	7	○
5 須崎市	10	8	5				6	5	○
6 宿毛市	10	7	5				3	4	○
7 土佐清水市	1	4	1				1	4	○
8 四万十市	15	13	3				14	9	
9 香南市	9	7	4				12	3	
10 香美市	9	7	3			1	10	5	○
11 東洋町	1	2	2			2		1	
12 奈半利町	1	1	1			1	1	1	
13 田野町	1	1	1			1		1	
14 安田町	1	1	1			1		2	
15 北川村	1	1	1			1		1	○
16 馬路村	1	2	2					1	○
17 芸西村	1	1	1			2	1	1	○
18 本山町	1	2	1				1	2	
19 大豊町	1			1				3	
20 土佐町	1	1	1					1	○
21 大川村	1			1				1	○
22 いの町	8	7	5				8	4	○
23 仁淀川町	1	3	2					3	○
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2	○
25 佐川町	5	4	2				3	3	
26 越知町	1	1	1				1		○
27 橋原町	1	1	1					1	
28 日高村	1	2	1				1	2	○
29 津野町	2	2	2			2		3	○
30 四万十町	14	11	3				1	12	○
31 大月町	1	1	1					1	○
32 三原村	1	1	1					1	
33 黒潮町	1	7	2					4	
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1		
35 高知市	50(58)	36(3)	12(5)	2			89	41	
36 県立	9				9				
<b>事業実施予定合計</b>	<b>206</b>	<b>172</b>	<b>79</b>	<b>4</b>	<b>9</b>	<b>13</b>	<b>187</b>	<b>145</b>	<b>19</b>
<b>合計</b>	<b>(215)</b>	<b>(176)</b>	<b>(85)</b>	<b>4</b>	<b>9</b>	<b>13</b>	<b>187</b>	<b>145</b>	<b>19</b>

※地域学校協働活動の( )内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校5校、国の示す本部の3要件を満たす高知市の学校3

# 令和5年度 地域学校協働本部事業に関する 取組状況調査(まとめ)

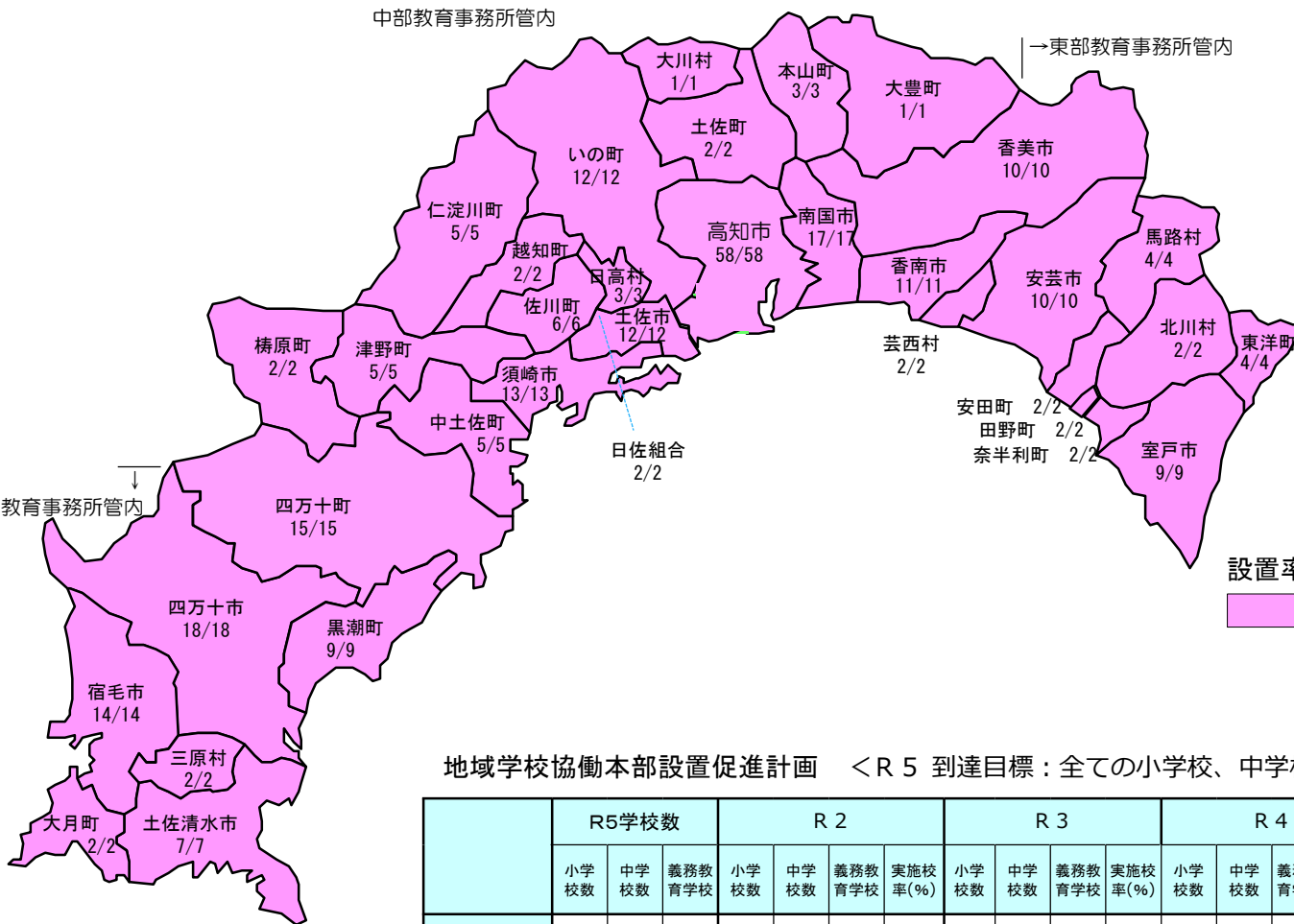


# R5 地域学校協働本部設置状況

中部教育事務所管内

→ 東部教育事務所管内

市町村名  
設置校／学校数



地域学校協働本部設置促進計画 < R5 到達目標：全ての小学校、中学校、義務教育学校に設置 >

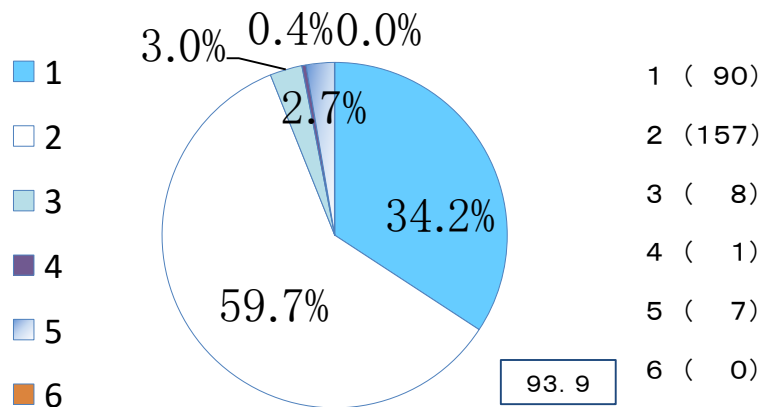
	R5学校数			R 2				R 3				R 4				R 5			
	小学校数	中学校数	義務教育学校	小学校数	中学校数	義務教育学校	実施校率(%)	小学校数	中学校数	義務教育学校	実施校率(%)	小学校数	中学校数	義務教育学校	実施校率(%)	小学校数	中学校数	義務教育学校	実施校率(%)
東部教育事務所	36	22		37	23		100	36	22		100	36	22		100	36	22		100
中部教育事務所	70	34	2	72	38		99.1	72	37		100	70	34	2	100	70	34	2	100
西部教育事務所	36	16		39	22		100	37	20		100	37	16		100	36	16		100
高知市	39	17	2	23	17	2	72.4	27	17	2	79.3	29	17	2	82.8	39	17	2	100
計	181	89	4	171	100	2	94.1	172	96	2	95.7	172	89	4	96.4	181	89	4	100

## 1 本部事業を実施してみて、どの程度効果があったと感じていますか。

- 選択肢 1 効果が得られた 2 ある程度効果が得られた 3 あまり効果が得られなかった  
 4 効果が得られなかった 5 分からない (6 無回答)

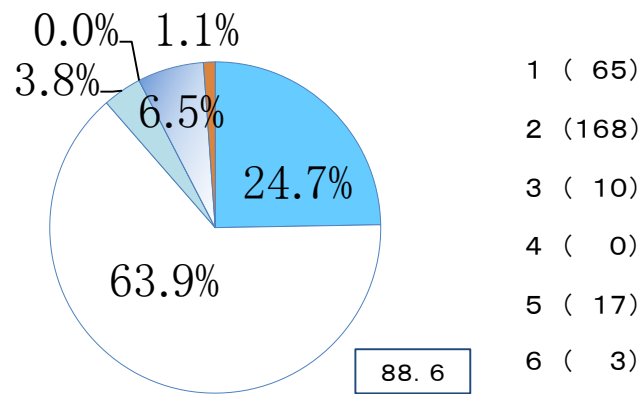
(1) 子どもたちが地域住民と交流し、多様な体験をすることによる効果について(学校取組状況調査より) ※    は1. 2の合計

① 自尊感情の向上につながった

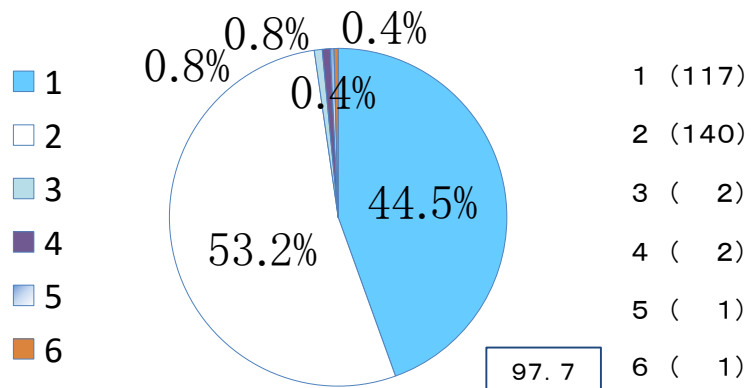


② 規範意識の向上につながった

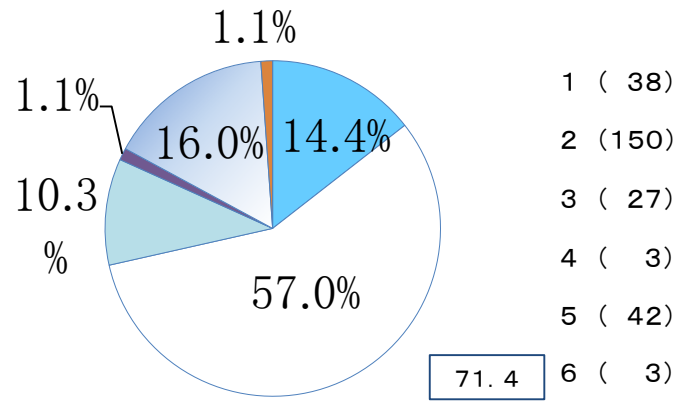
n = 263



③ コミュニケーション能力の向上につながった



④ 学力向上につながった

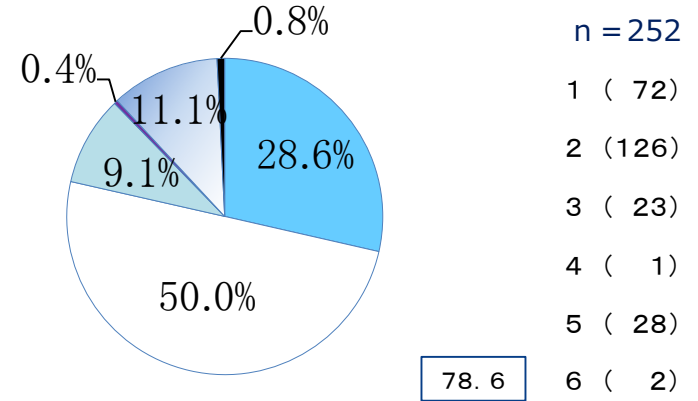
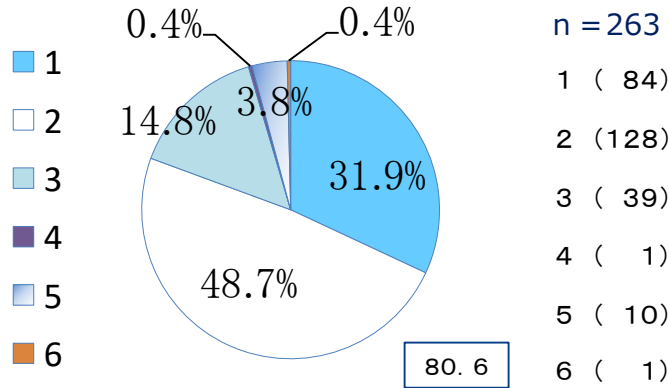




選択肢 1 効果が得られた 2 ある程度効果が得られた 3 あまり効果が得られなかった  
 4 効果が得られなかった 5 分からない (6 無回答)

(2) 教員の働き方改革につながった(学校取組状況調査より)

(3) 学校外で、子どもたちと地域住民が交流する機会が増えた(コーディネーター取組状況調査より)

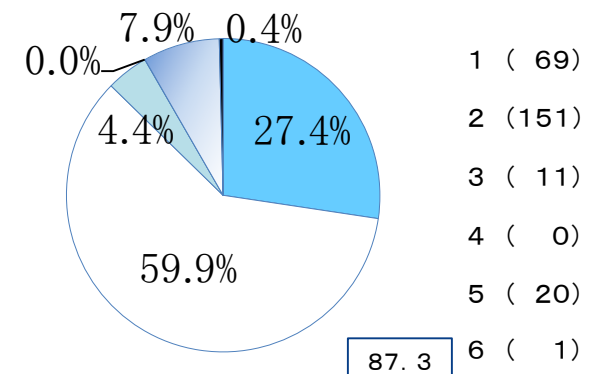
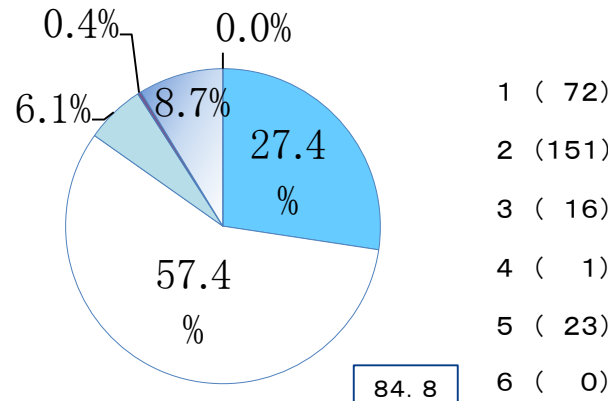
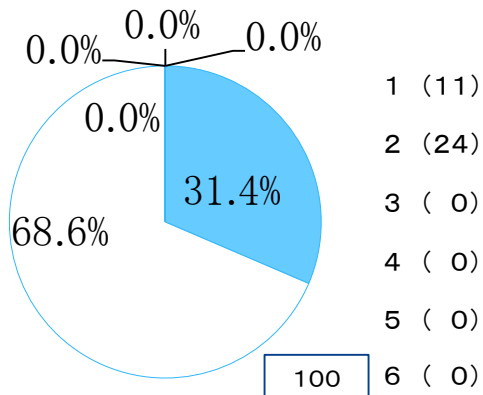


(4) 地域住民が学校を支援することにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化につながった

<市町村等> n=35

<学校> n=263

<コーディネーター> n=252



## 2 効果を感じた取組について、具体例を教えてください。

(学校取組状況調査より抜粋)

### ◆ 自尊感情・コミュニケーション能力の向上等

- ・初めて「サーフィン授業」を実施したことで、「チャレンジしよう」という気持ちが生徒に芽生え、うまくできなくても何回も全員がチャレンジしていた。また、地域にこんな素晴らしい場所があることを改めて感じ、郷土に対する思いが変わってきた。
- ・地域の方々、些細なことでも子ども達を褒め、温かい声かけをしてくれるため子ども達の自信につながっている。
- ・災害から身を守ることとして、地域防災から学んだり、自衛隊に聞き取りを行ったりすることで、地域を詳しく知ることができ、自分たちの地域や地域の人々に対して誇りを感じ、郷土を愛する心の醸成につながった。
- ・地域学習等の際には、教職員よりも詳しい知識を持っている方に協力いただけるため、大変助かっている。また、地域の方の言葉だからこそ、子どもたちに響き、自己肯定感や規範意識の向上に繋がっている。
- ・年2回の運営委員と生徒達が直接意見交流する場が、生徒たちの自己肯定感の向上や規範意識及びコミュニケーション能力の育成・向上に貢献していると感じている。

### ◆ 教員の負担軽減等

- ・教育活動への様々な協力依頼をする際の、教員の労力が低減されている。(人材探しや依頼交渉等)
- ・地域に関する体験学習や防災学習など、ねらいに応じて支援していただければ、生徒だけでなく、教員も学ぶことや気付かされることもある。
- ・避難訓練後の地区別集団下校において、その地区に住んでいる民生児童委員さんがともに歩いてくださることで、教員では気付かない地区の危険箇所や注意すべき点について助言をいただくことができてよかった。
- ・運営委員会で出された議題を実行することで、よりよい学校づくりに繋がっている。例えば、地域クラブ(つり)を発足し、教員だけではできない活動を児童に体験させることができた。
- ・地域学校協働活動推進員が3年生の校区探検を中心となってマネジメントした際、地域住民ならではの詳細な説明により、児童の学びが深まった。また、関係機関への訪問要請等を行ってくれることで、教員の業務改善にもつながった。

- 以前本校で所属していた退職教員を協働活動支援員として配置していただいている。子どもたちや家庭、地域のことに十分把握し、教育活動の様々な場面で幅広く支援していただいているおかげで、教員が自身の学級経営等に力を注ぐことのできる環境が生まれている。
- 年間5回開催する協議会のうち第1回目と第5回目を**全教職員で行う**ことで、詳しい取組や取組状況を共有することができた。また、学校行事等においても協力をしていただくことで、児童との関わりを深めることができ、よい体験の場となっている。地域コーディネーターが中心となり、行事や体験学習に関わってくれているので、教職員の負担減となっている。
- 学校と地域が連携する行事について、地域コーディネーターが積極的に関わってくださるため、コーディネーターとの打ち合わせの時間を設けるだけで、地域ボランティアなどの確保が可能となっている。また、コーディネーターからの提案もあり、充実した取組につながるとともに、教員の負担軽減にもつながっている。
- 今年度より、5つの部の年間活動計画を1枚にまとめ**可視化**したことで、学校からお願いしなくても時期が来たら、協働本部の皆さんが自主的に環境整備等を行ってくれるので助かっている。

#### ◆ 子どもたちの学習意欲・学力の向上等

- 主に加力学習や教科の支援をお願いするケースが多く、全国学力調査でも成果が上がっている。
- ALTが月一回の来校であることから3年前からこの事業を活用して、以前外国語支援員として来ていただいていた方に英語の授業を中心に入ってもらい、児童の英語力を上げることができている。また他にも、作文教育や図画工作等の講師をお頼みし、高い技能や能力を身に付けることができ、児童の自尊感情が向上し充足感を得ることができている。そして、地域の事や体験学習の講師などもこの事業があるおかげで頼みやすく、教師の働き方改革にもなり地域力アップにもつながっている。
- 夏季休業中に行った「特別学習」では、大学生との関わりがもて、学習支援だけでなくキャリア教育の視点もあり、非常に有効だった。
- 放課後学習室には地域コーディネーターとともに学生ボランティアがほぼ毎回参加してくれている。生徒たちは彼らと接する中で、将来の自分の姿を想像したり、生き方を考えたりする機会となり、キャリア教育の一端を担う貴重な時間となっている。

## (コーディネーター取組状況調査より抜粋)

### ◆ 効果等

- サーフィンに興味を持ってはいるが、踏み出せなかった子どもが多くいたが、授業をきっかけにサーフィンを始める子ども達が増え、地域全体でサーフィンの町として盛り上げることができた。
- 各団体の代表を中心に本部の運営委員が構成されており、こども園（幼保併設）・小学校・中学校合同の本部事業を展開している。協議の場も活動の場も子どもの15年間の成長を視点とし、関係機関が連携した取組が展開されている。
- 小中学校の運動会で披露している盆踊りは、複数年間続けているからこそその「慣れた」踊りになっており、子どもも真摯に向き合っている。総合的な学習での地域調べではネットで調べたことの転記ではなく、思いも感じられるなど**地域の子どものとして育てていることを実感できる。**
- 学級担任とコーディネーターが計画当初から、連絡を密に取り合うようにした。そのため、学校側の**単元のねらいと地域の特色・実情を十分に考慮し、マッチングした活動**ができた。
- 訪問する施設・商店・事業所に事前、事後に担任とコーディネーターと一緒に挨拶・打合せに出かけたことで、学校と地域のつながりが深まった。
- **地域の人材バンク**を作成したことで、学校から活用してもらえた。さらに人材バンクを充実させたい。
- ボランティアに対して今までは1人ずつ電話で連絡していた所を、LINEのオープンチャットに変えたことで、一度に30人ほどにすぐ伝達できるので、効率が良くなった。
- お茶摘み授業で子ども達と一緒に、手で摘み、薪で茶葉を煎って、葉を手もみし、天日に干して仕上げる。食べ物が口に入るまで、いかに手間がかかり大変な苦労があるか、子ども達は実感したと思う。
- 愛校作業に初めて参加されたボランティアから「作業に参加して元気をもらった」と帰りに言ってもらえた。
- **地域の任意団体との連携**から、協働活動への多面的な援助受託が可能となるため、周辺企業からの寄付金や活動支援を、学校教育活動へも生かすことができている。これにより、**公費予算に限定されることなく、児童・生徒からの急なリクエストや発案にも迅速な対応**ができています。
- 子どもが集まれる場所として喫茶を運営することや、**学校運営協議会**に出席することで、子どもの状況や地域住民の意見等を統括的な協働活動推進員へ円滑に共有することができた。
- 地域のイベントや行事等に子どもたちが参加することにより、大きなイベントの裏にはたくさんの人の支えがあって成り立つことを身をもって体験し、学んでいる。そういった体験を通じて人のあたたかさや郷土愛が芽生えている。それを社会に出てからも忘れずに持ち続けることができている。
- 農業・漁業に従事する人が多いため、学校行事への参加・支援が得られやすく、また、地域にある労働力や資材を惜しげもなく学校に投入しようとする人も多くいる。地元の**障がい者福祉施設と連携**したイベントも企画されている。

- ・「地域の祭り」の総合学習で地域のゲストティーチャーが思いや希望を語ってくれた。後日行われた神社の清掃、しめ縄作りには例年よりも多くの生徒が参加し、地域の方もすごく喜んでくれ、急遽一人一人のしめ縄づくり授業が開催されるなど地域の方と触れ合うことができた。
- ・中学校の先生方や学生達は、地域の住民や小学生、お年寄りたちに心を配りながら、学習活動をされている。防災活動に繋がる教育活動の際には、自分たちの学びの深化と共に、それらの学びをどのように地域の人たちと分かち合うかにいつも心を配りながら活動を行っている様子が伺える。これまでの先生方の心遣いと声かけのお陰と思うが、子どもたちが自然に広い視野で地域を捉えることができるようになってきていることが大変頼もしく思い、励みになる。
- ・学校との情報共有も増え、学校の行事予定等を知らせていただき、回覧板や地域情報誌等に掲載させていただくことで、互いの活動への理解や協力を得る機会も増えている。全ての先生方が学校に関心を持ち、コーディネーターにも気軽に相談できる空気ができている。
- ・公民館に地域高齢者と小学生が集まり、コマ回し、綾取り等の昔遊びをし、交流、絆が生まれた。
- ・地域の文化遺産、伊尾木洞の自然天然記念物シダ群落の雑草の取り除きを小学生と地域で守り、後生に継承していく。
- ・ここ3年間はコロナ禍のため、学校行事へ参画できない場面もあったが、今年度は、生徒総会や運動会、文化発表会、マラソン大会において、生徒たちの頑張る姿を参観し、声援を送ることができている。また、定期的な交通安全運動やあいさつ運動でも、生徒たちと多くあいさつを交わすことができ、地域の中学校を見守ることができている。
- ・不登校になっているのか、当校している時間帯でも見かけるな…と少し気にしていた所、地域の掃除時にその保護者と話すことができた。不安になっている保護者の方の話を聞いてあげる時間はとても必要だと感じた。すぐには解決できなくても、教員でもない、友達でもない、近所の顔見知りに話を聞いてもらう事は大切だと感じる。
- ・地域の方と顔見知りとなり、登下校の見守りもしてくださり、子ども達の安全にも役立っている、コロナでいろんな活動ができなかったけれど、またやりたいという声を子ども達から聞こえてくる。今年は少しずつできるようになり、活動中の子どもたちの笑顔がうれしく思う。
- ・子どもたちに顔を覚えてもらって交流する中で、元気に挨拶してくれたり、信頼関係が築けて、積極的にコミュニケーションをとってくれるようになった。



## (市町村取組状況調査より抜粋)

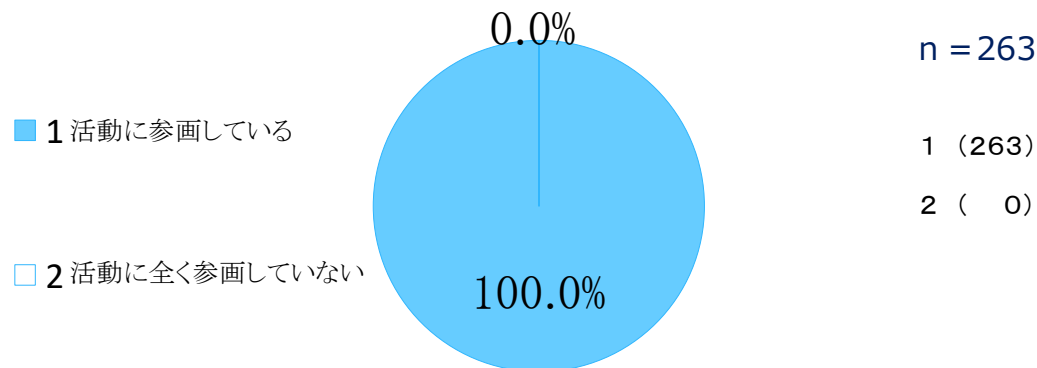
### ◆ 効果等

- 本の読み聞かせやテストの丸付け、放課後学習での児童の見守り等により、**教員の業務の効率化**が図れている。
- 絵画指導や毛筆指導の実施により、**教員の負担軽減**につながっている。
- 本の読み聞かせや愛校作業等の活動を通じて、学校と地域が交流を深めると共に、**地域住民が子ども達の成長する姿を知ることができている。**
- 総合的な学習の時間で、**地域の専門家や民間企業、社会教育団体等の協力が得られる**ことで、地域学としての取組が充実してきた。
- 地域人材による部活動支援を活用することにより、**教員と補助者で役割分担**ができ、専門的な指導や夏場の熱中症対策など、**生徒と向き合える時間が確保**できた。
- コーディネーターや地域の方の協力により、活動を通して、**学校と地域の関わりが深められている**と感じている。
- PTAの歴代会長にボランティアグループとして残ってもらっている。(人材の確保)
- LINEの「オープンチャット」を活用することで一斉にボランティアを呼びかけることができ、急な見守り要請などにも対応することができている。
- **地域の産業について学ぶ機会**を設けており、これが地域の隠れた魅力を知るきっかけになっている。このような機会を設けることで、**地域への愛着が強まる**ことが期待できる。
- 地域の方が参画してくれることで、ふるさと学習や農作業体験などの様々な**学習内容の充実**が図れている。
- 今年度から、茶道・神楽の授業を地域学校協働本部の**新規事業**とし**コーディネーターがつなぐ**ことで、**学校と地域がより連携がとれる**ようになった。
- それぞれの学校で**地域の特性や課題を踏まえた取組み**を実施しており、学習指導、クラブ活動、防災授業、登下校時の見守りや様々な体験活動、授業支援等に**地域の方が主体的に関わってくれ**、学校運営や教員の働き方改革にも繋がっている。
- 事業を実施することで、多くの地域住民の参画により子ども達を見守ってくれていることで**子ども達が安心して地域の中で成長**することができ、また、**地域ぐるみで学校を見守**ってくれていることを常に感じている。

### 3 民生委員・児童委員の活動への参画状況

◆県では、民生委員・児童委員が参画し、厳しい環境にある子どもたちの地域による見守り体制を強化した「高知県版地域学校協働本部」への展開を推進しています。

- (1) 民生委員・児童委員は活動(登下校・学校外での見守り、学習支援、学校行事、地域コーディネーター等)へ参画していますか。 (学校取組状況調査より)



- (2) 民生委員・児童委員の参画による見守りで、効果を感じた具体例がありましたら、ご記入ください。

(学校取組状況調査より抜粋)

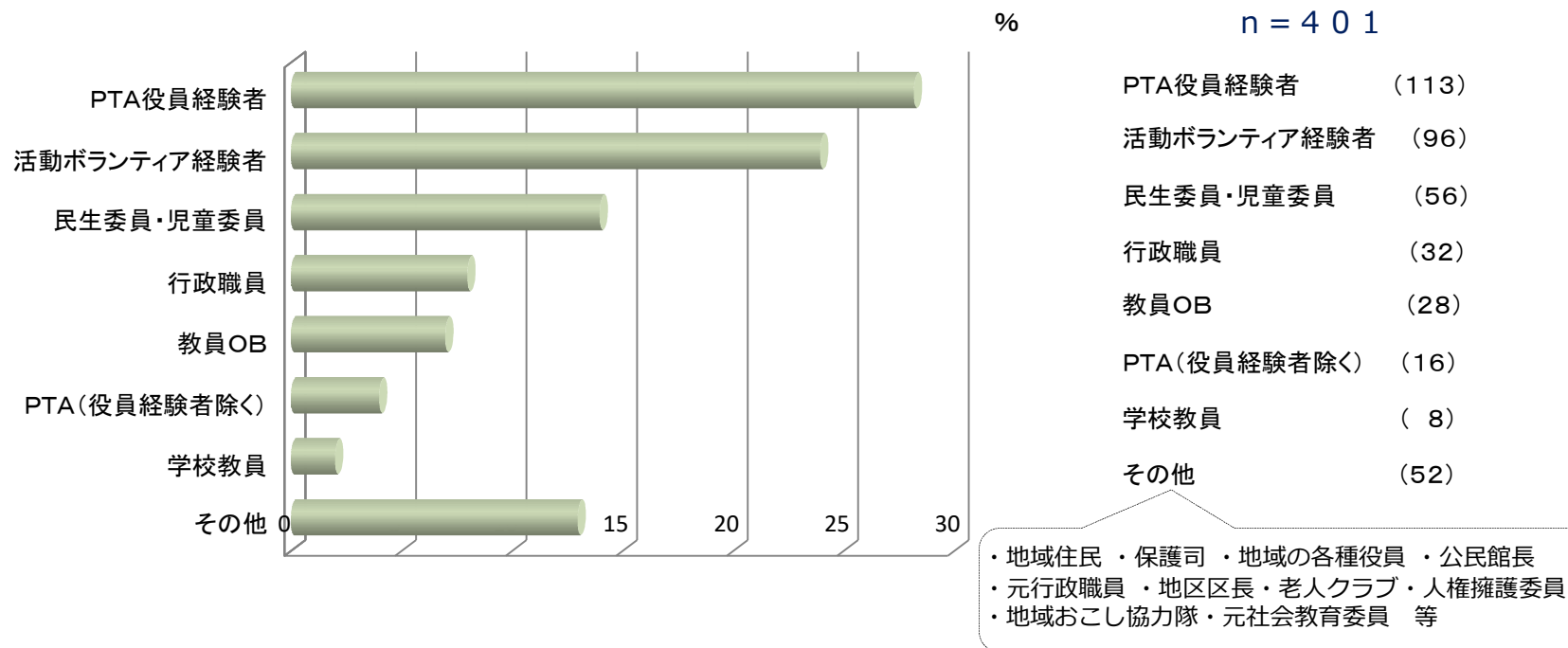
- 固有名詞で生徒の情報交換ができることが第一にあげられる。また、地域での生徒の近況や家族の情報を具体的に交換できて学校での指導をできる点に効果がある。
- 登校時の見守り活動の際に、生徒の体調の変化を連絡していただき、素早い対応をとることができた。
- 子どもについて日頃から情報共有また、情報提供があり、子どもや家庭へのアプローチがスムーズにできている。
- 担任と支援員だけの引率では安全面で不安だった校外学習に参加してもらうことで、安心して校外に出ることができた。
- 入学当初の1年生の集団下校の際や緊急時の全校一斉下校の際の見守りに参加していただいております、安全確保が十分できることで児童が安心して下校することができている。
- 地域での保護者との繋がりが強く、子どもたちだけでなく保護者の様子を含めた家庭環境について把握しており、学校に対して積極的に情報提供をしてもらえらる。

- 夏休みは子ども食堂を開き、長期休暇中の児童の居場所づくりや、児童の様子を見守る機会をつくってくれ、頼もしく感じている。
- 民生委員・児童委員の学校訪問によって、生徒への励ましをいただき肯定的な還元ができた。また、不登校生徒や特別な支援を要する生徒の保護者のしんどさなど、家庭や生徒の情報を共有することによって、より細やかな支援につなげることができている。
- 学校から離れた地域での登下校時に、本校生徒が進んで地域の方に挨拶していることをお聞きし、温かく見守ってくださっていると感じている。また、そのような地域の方の声を生徒に伝えることで、生徒の気持ちも上向きになっていると思われる。
- 今年度より「子ども民生委員」の活動を行っており、各家庭に訪問するときには民生委員・児童委員の方々が付き添い、高齢の方々とのつなぎ役になってくれている。
- あらゆる立場から児童生徒を見守っていくために、率先して学校と情報共有の場を持ってくれている。特に支援の必要な児童生徒への支援方法について熱心に協議し、対応の手助け等をしてくれている。
- 民生委員の中にPTAの役員も兼ねている方がおり、保護者の意見も吸い上げてくれるため、連携・協働しやすい体制ができている。
- 地域での危険箇所や子ども達の遊ぶ様子で気になることを学校へ情報提供してもらい、すぐに現場にかけつけて、指導することができた。
- 厳しい環境下にある子どもたちの事情を理解していただいているので、校区内で放課後や休日等において気になることがあれば、学校に連絡や報告をしてもらっている。また、毎朝のあいさつ運動への参加は子どもの顔を知ってもらえる機会となっており、日常的に言葉を交わす関係ができている子どもが増えている。
- 片道3kmある通学路を歩いて登校してくる児童に毎朝寄り添い、学校まで見守り活動を令和2年度から継続してくれている。また、朝起きるのが遅くなり、登校を渋る低学年の児童に声をかけてくれることで、登校できている児童もいる。
- 多数の民生委員・児童委員が校区青少協、校区交通安全会議等の構成員となっており、地域行事には必ず参画し、学校行事にも関わってくださっている。このように日常的なかかわりがあるため、気になる児童や家庭に関する情報が、適宜、学校に入ってきてやすい。

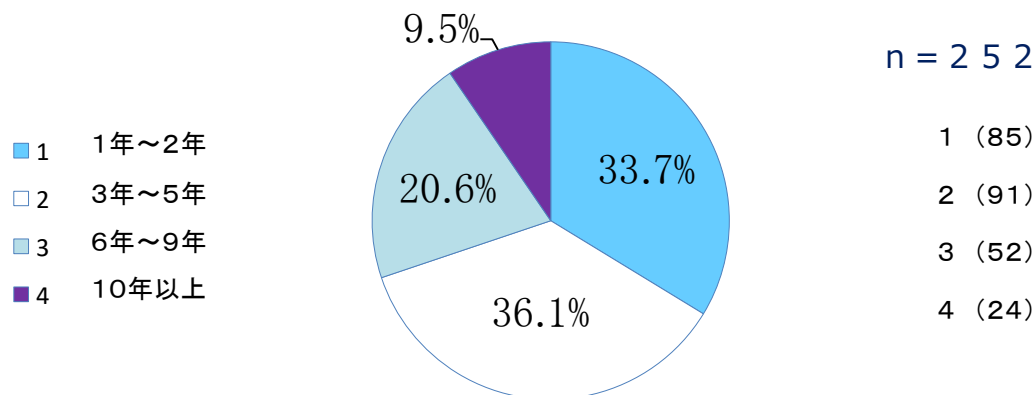


## 4 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）について

（1）あなたの属性を教えてください。（コーディネーター取組状況調査より）【複数回答のため、重複あり】



（2）コーディネーターとして活動している年数を教えてください



### (学校取組状況調査より抜粋)

#### ◆ 課題等

- ・地域住民の高齢化により、ボランティアに携わる方々も高齢になっている現状である。次世代の学校応援団の方々の育成が急務だと思う。
- ・地域の方の学校への協力の気持ちや期待はあるが、過疎化や高齢化が進み、活動が困難になってきている。
- ・厳しい環境にある子どもたち（保護者も含めて）に対しては、民生委員・児童委員さんだけでなく、育成センターや児童相談所、福祉や医療機関等とも連携しながら取組を進めていく必要があると考える。

#### ◆ ご意見等

- ・活動をより広めていくためには、完全ボランティアではなく、少額でもお金の支給ができるとう活動はもっと広まりやすいのではないかと思う。
- ・コーディネーターがボランティアに連絡を取ってくださる際の通信費の保障が必要ではないか。
- ・本年度から少しずつコロナ禍前のつながりを戻すことができている。教職員等の過度な負担にならないよう、内容を精選しながら実施していきたい。そういった面での他校の工夫された取組事例があれば、紹介してほしい。
- ・学校に対する考え方も多様化する中、親の中には子どもに教育を受けさせる義務を軽視したかのような主張をする人もいる。学校に来てくれたら児童生徒の様子も把握できるが、登校していない児童生徒の家庭での様子は把握しにくい。民生委員等が、そのような家庭へも心配りをしていただけたら安心する。教育と福祉が連携することが重要だと思う。
- ・月ごとに活動実績に応じて謝金を支払っているが、児童と直接関わりのあった活動に限定されているため、例えば、芋のつるさしの畑準備や草引き、タウンウォッチングの打ち合わせ会等へ参加された方は無報酬である。直接児童との関わりはないが、それらにつながる活動・作業であることから、報酬対象の見直しを検討していただきたい。

### (コーディネーター取組状況調査より抜粋)

#### ◆ 課題等

- ・教員の連絡(日程)が遅く、地域から注意される事が何度かあった。1年毎に担当者が異動するので、半年以上把握にかかるとある。
- ・地域の方から「知っていたら協力できたかもしれない」という声を聞くことがある。教育・保育の現場が人材確保の点で困っていることや希望していることを、地域の人々の力とうまく結びつけることができるように、日ごろから両者の現状をよく見聞きして知っておく必要がある。

- PTA・保護者の教育活動へのかかわりが少ないと思う。
- 「地域で大人と子どもがつながり、そこから人と人がつながる。」ための、広がりという面で壁に当たっている。
- 本活動のいちばんの目的は、学校と地域がつながることである。しかし、昨今のプライバシー意識の高まりの中では、そのための支援者の輪を育てることはなかなか難しい。

#### ◆ ご意見等

- 地域と学校をつなぐコーディネーターを継続して学校においてもらいたい。
- PTA→PTCAとなっているが、保護者の会合への参加があれば意見交換などでもっとつながるのではないか。
- 中学校は小学校区と比べ地域の範囲が広いので、地域ごとの関わりなど小規模での活動ができないかと考える。
- 学校が地域とつながるためには、「今の学校」がどのような活動をしているかを、地域に広く知ってもらうことが大切である。①卒業生やその保護者には、母校としての思いを大切に育て ②在校生と保護者には、今の教育活動に関心を持ち協力をしてもらう。③保育園児の保護者には、これから我が子が入学し育っていく学校に関心を持ち、家庭教育に活かしてもらう。そのために、校区の町内会単位で学校便りを回覧するようにはどうかと考える。
- いつまでもはこの仕事を続けられないので、次の人を探しているが、まだ見つかっていない。学校からは「辞める時は次の人を決めてからにしてください」と言われているが、何か募集する手段はないだろうか。
- 組織の一員として学校の中に入ってみると、先生方の多忙さに驚いた。業務改善の必要性を痛感し、地域の方々と協力していく必要性を痛感した。
- あいさつができるようになったのは、地域の方を見知ったからだと思う。人は、自分の知らない人の悲しみや喜びには共感しにくい。見知らぬ人から見知った人になっただけで、声がけされたとき反応できると思う。
- プランターや花壇の作業など地域住民と学校の協働による取り組みは、高齢化が進む地域にとっても活性化にもつながっているように見受けられる。昔は3世代が同居している家が当たり前のようにあったが、時代の流れとともに社会を取り巻く環境は大きく変化し核家族化が進んでいる。そのような中で、普段触れ合うことが少ない地域の大人や高齢者との協働による取り組みは、きっと子どもたちにとっても新たな発見や学びの場になっていると思われる。
- 地域・学校・子どものために頑張りたい。
- 本部事業で関わっている方々は、地域のまちづくりの会合や青少年育成協議会の活動等でも日常的に顔を合わせているため、運営は非常にスムーズである。このつながりの強さ・深さは校区及び地域の宝であると考えている。

- ・地域でも学校現場でも、本事業に対する知識や理解、有効性の共有が、まだ一部に限られているように感じる。地域が学校を支援する形であった一方向性の頃の形態と、双方向での「連携・協働」へ転換された現在の事業形態との違いは、しっかりと理解していただく必要があると思う。ただ、周知の為の広報に力を入れようとしても、幅広い年代層・ネットワークの対象先に確実に届ける手法が定まらず、その点でも大変苦労している。
- また、協働活動の実質的な担い手である地域のボランティア人材が、少数固定化傾向にあることに加え、そのメンバーが高齢化を迎えるなか、次世代へのバトンパスが上手くつながっていかない現状は、何より大きな課題である。
- どの学校でも、格差なく、持続可能な事業として実施継続していく為に、町（行政）と県下の大学や高校（教育の一環として）、企業（社会貢献として）等が協働協定を結ぶ等の公的施策は難しいだろうか。

（市町村状況調査より抜粋）

#### ◆ 課題等

- ・地域ボランティア数が増加してきているが、地域ボランティアの方々の活躍の場が少ない。
- ・運動会など地域との交流が、徐々に戻りつつあるが、地域に対する子どもの意識が薄くなっている。
- ・地域の方に依頼するにあたり、無償での依頼は難しく謝金をお支払いすることが必須となっている。予算の都合上、学校が望む時間数の謝金を支払いできないため、予算が足りない分は依頼ができないことが問題となっている。
- ・長期休暇の長時間の対応や、日常的に支援が必要な児童への対応が難しい。
- ・実態として、人材には事務処理能力やコミュニケーション力などで高い能力も期待されている事も要因として考えられる。役割分担なども考えられるが、少ない人材の中での確保は難しいと感じている。
- ・事業実施校は増えたが、予算が増えなかったため、各校の予算が少なく、地域学校協働活動推進員の報酬費が年間を通じて十分支払いできない学校がある。

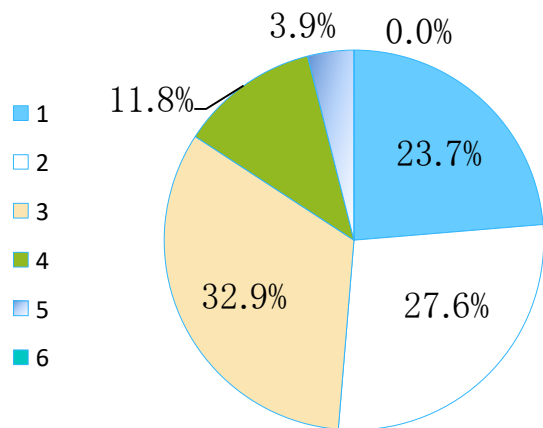
#### ◆ ご意見等

- ・地域学校協働本部の取組やコミュニティ・スクールについて地域の認知度が低い。学校・行政ともに何をしているのか、何を目標しているのかを知らせていくことが必要と感じる。
- ・年々、各学校においてこの事業を活用することが軌道に乗ってきていることもあり、令和6年度はこれまで以上に予算要求が増額している。教員の働き方改革の推進・地域で子供たちの成長を見守っていく点でこの事業は大変重要なものであるため、可能であれば予算の増額をお願いしたい。
- ・他市町村ではどのように活動しているのかなど、情報共有できる場が今後多くあれば助かる。

## 6 各本部の実施状況について、どのような方法で把握をしていますか。

(市町村取組状況調査より) 【複数回答のため、重複あり】

n = 76



- 1 学校運営協議会等会議に出席 (18)
- 2 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)と情報共有している (21)
- 3 学校と情報共有している (25)
- 4 研修会を実施し、取組状況を共有している (9)
- 5 その他 (3)
  - ・推進員・支援員の日誌にて活動内容等の情報を得ている。
  - ・1学期に各学校を訪問し、管理職と推進員同席のもと、活動の状況や課題について話を伺っている。
- 6 無回答 (0)

### 活動の推進に向けて

- 地域学校協働本部の取組について、市町村広報誌や地域に関係の深い団体・組織のネットワーク等を活用して、積極的に情報発信しましょう。
- 学校と連携し、地域や学校の特色・実状に合った地域コーディネーターを探しましょう。
- 運営委員会で、事業計画、広報や人材確保の方策、活動プログラムの企画、事業の検証等を行って、特色・魅力ある地域学校協働本部の取組を推進しましょう。
- 地域学校協働本部の事例集・ハンドブックを活用した情報提供や積極的な研修会参加による学び、地域コーディネーター同士の交流機会設定等を通して、地域学校協働本部の取組の充実や関係者の資質向上・育成につなげましょう。
- 地域コーディネーターや地域ボランティアの傷害保険への加入等、万一の場合に備えましょう。
- 円滑で効果的に活動が推進されるよう地域学校協働活動推進員を委嘱することや、地域学校協働本部と学校運営協議会の機能を効果的に高めていくために地域学校協働活動推進員や地域コーディネーターを学校運営協議会の委員とすることを検討しましょう。

『地域学校協働本部実践ハンドブック』(令和2年2月 高知県教育委員会)

## NPO法人高知県生涯学習支援センター（学び場人材バンク）事業報告

令和5年12月31日現在

登録状況	個人	企業・団体	協力 企業・団体
	314	59	64

登録者の属性は、大学生19、  
現職教員10、退職教員9、塾講師8、  
その他268、登録企業・団体51、協力企業・団体  
64

## 【市町村別登録者数】

令和5年12月31日現在

NO.	市町村	登録数		協力 企業・団体	NO.	市町村	登録数		協力 企業・団体
		個人	企業・団体				個人	企業・団体	
1	室戸市	9	0	1	19	大豊町	2	0	0
2	安芸市	1	0	0	20	土佐町	1	0	1
3	南国市	28	1	4	21	大川村	0	0	0
4	土佐市	14	1	1	22	いの町	18	3	0
5	須崎市	14	4	0	23	仁淀川町	3	0	0
6	宿毛市	8	0	0	24	中土佐町	1	0	0
7	土佐清水市	7	0	0	25	佐川町	5	0	0
8	四万十市	9	1	0	26	越知町	1	0	1
9	香南市	15	1	2	27	梶原町	1	0	0
10	香美市	22	1	2	28	日高村	4	1	2
11	東洋町	0	0	0	29	津野町	0	0	0
12	奈半利町	0	0	0	30	四万十町	8	2	0
13	田野町	1	0	1	31	大月町	1	2	0
14	安田町	3	0	0	32	三原村	0	0	1
15	北川村	0	0	0	33	黒潮町	5	1	1
16	馬路村	0	0	0	34	高知市	126	41	46
17	芸西村	3	0	1		県外	1	0	0
18	本山町	3	0	0		合計	314	59	64

【協働協力団体】

登録企業

令和5年12月31日現在（順不同）

No.	登録企業名	協力内容	No.	登録企業名	協力内容
1	株式会社 相愛	出前講座	14	学校法人 平成学園	出前講座
2	ほけんの110番	出前講座	19	株式会社 フタガミ	出前講座
3	桂浜水族館	職場体験・出前講座	20	有限会社 香北電機	出前講座
4	丸の内法律事務所	出前講座	21	株式会社 伽羅巣	出前講座
5	株式会社 JAEナジコこうち	職場見学・職場体験	22	中宏文 建築設計事務所	出前講座
6	株式会社 ソニック	出前講座	23	ミタニ建設工業株式会社	出前講座
7	清和アクリル株式会社	出前講座	24	ダイニングプランナー株式会社	出前講座
8	コーチ社労士事務所	職場体験・出前講座	25	明神水産株式会社	職場体験・出前講座
9	株式会社 RT	職場見学・職場体験	26	四国運輸株式会社	職場体験・出前講座
10	株式会社 クイーク	職場体験・出前講座	27	株式会社 タケナカダンボール	職場体験・出前講座
11	株式会社 建商	出前講座	28	株式会社 土佐龍	出前講座
12	株式会社 オルトル	出前講座	29	株式会社 ひがき	出前講座
13	株式会社 アイユート	職場体験・出前講座	30	株式会社 日東商事	出前講座
14	栄産業株式会社	職場体験・出前講座	31	有限会社 高知事務機	出前講座
15	レンタル衣装わかば	出前講座	32	株式会社 かんぼ生命保険高知支社	出前講座
16	高橋裕忠行政書士事務所	出前講座	33	有限会社 ラヴィ・ポーテ	出前講座
17	内外典具帖紙株式会社	出前講座	34	CEN 株式会社	出前講座

登録団体

No.	登録団体名	協力内容	No.	登録団体名	協力内容
1	NPO法人こうちサポートネットワークイン	人材紹介・派遣	14	NPO法人四国自然史科学研究センター	出前講座
2	環境活動支援センターえこらぼ	出前講座・人材派遣	15	かわうその里お話の会	出前講座
3	高知県シェアリングネイチャー協会	出前講座	16	四万十学舎	出前講座
4	高知県生涯学習インストラクター協会	研修会講師・啓もう活動	17	本のちよつどのあ・い・だ	出前講座
5	高知県赤十字血液センター	出前講座	18	出前訪問サークルひめじょおん	校外体験学習
6	高知県地球温暖化防止推進委員の会	出前講座	19	四万十ふれあい動物村 プレーメン	出前講座
7	高知県美容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	20	NPO法人黒潮実感センター	出前講座
8	高知県理容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	21	海辺の自然史研究舎	出前講座
9	高知コンサート・グループ香南支部	出前講座	22	日本3B体操協会高知県支部	出前講座
10	しまんと新聞ぼく高知支部	出前講座	23	WSS-JAPAN四国支社	出前講座
11	新需要開拓マーケティング協議会	出前講座	24	(一財)高知県環境検査センター	出前講座
12	はくみプロジェクト	研修会講師・研修会講師	25	103DAMA (とさ玉・けん玉)	出前講座
13	腹話術高知	出前講座	26		

協力企業

No.	協力企業名	協力内容	No.	協力企業名	協力内容
1	不二電気工芸株式会社	出前講座	10	株式会社ダスキンサニーマート	出前講座
2	宮地電機株式会社	出前講座	11	高知県農業協同組合春野支所	出前講座
3	株式会社四国銀行	出前講座	12	株式会社エースワン	出前講座
4	株式会社高知銀行	出前講座	13	有限会社ロイヤル	出前講座
5	四国ライフケア	出前講座	14	川北印刷株式会社	出前講座
6	株式会社浜幸	出前講座・職場見学	15	高知放送	出前講座
7	新進電気販売株式会社	出前講座	16	高知新聞社	出前講座
8	城西館	出前講座	17	日産サティオ高知SIS事業部	出前講座
9	有限会社栄樹造園	出前講座	18	株式会社ダイセイ	出前講座

協力団体

No.	協力団体名	協力内容	No.	協力団体名	協力内容
1	高知県金融広報委員会（日銀高知支店内）	出前講座	25	山・川・海の会	出前講座
2	『地球村』高知	出前講座	26	高知ケナフ普及会	出前講座
3	高知県森林研修センター情報交流館	出前講座・講師派遣	27	鏡川下流の貝を育てる会	出前講座
4	高知県ボランティアNPOセンター	人材紹介	28	こうちフィールドミュージアム協会	出前講座
5	公益財団法人高知市文化振興事業団	人材紹介	29	四国カーボンオフセット推進協議会	出前講座
6	放送大学	人材紹介	30	劇団笛の会	出前講座
7	公益財団法人土佐山内家宝物資料館	出前講座	31	日本けん玉協会	出前講座
8	NPO法人ももたろう企画	出前講座	32	日本赤十字高知県支部	研修会講師
9	高知県スポーツチャンバラ協会	出前講座	33	高知コア研究所	施設見学等
10	ぶらうらんど	研修会講師	34	農と生き物研究所	出前講座
11	高知県のいち動物公園協会	出前講座	35	認NPO法人定カンガルーの会	研修会講師
12	高知県立月見山こどもの森	出前講座	36	NPO法人469maネット	出前講座
13	工房ポレボレ	出前講座	37	土佐の国 笑いと癒し研究所	出前講座・研修会講師
14	株式会社四万十ドラマ	出前講座	38	高知大学	人材紹介・出前講座
15	株式会社奇想天外(海洋堂ホビー館四万十)	出前講座	39	高知工科大学	人材紹介・出前講座
16	高知県聴覚障害者協会	出前講座	40	一般社団法人Peaeo of New Farth	人材紹介
17	ポークアウト高知県連盟	出前講座	41	ココ・サン	本の寄贈
18	S K . 未来創造研究所	研修会講師	42	土佐和紙ちぎり絵交流会	出前講座・研修会講師
19	高知県レクリエーション協会	出前講座	43	高知県スポーツ鬼ごっこ連盟	出前講座
20	千斗枝グローバル教育研究所	出前講座・研修会講師	44	高知県埋蔵文化財センター	出前講座
21	樹づくり工房夢遊	出前講座	45	高知地方気象台	出前講座
22	高知県立牧野植物園	出前講座	46	任意団体 ジャぱかる	出前講座
23	高知自然学校連絡会	出前講座	47		
24	土佐竹とんぼの会	出前講座			

【市町村別出前講座申込・開催状況】

令和5年12月31日現在

	実施数	開催済					未開催	中止・キャンセル		マッチング不調	申込数	
		子ども教室	合同	児童クラブ	合同	教室・クラブで合同	その他	1月～開催予定	自然災害・感染症予防措置			主催者・講師の都合
		マ ッ チ ン グ					済	み				
高知市	3			1			2				6	9
室戸市												
安芸市	7	4		3							1	8
南国市	24	4		20						2	1	27
土佐市	10			6			4			2	7	19
須崎市	16	4		8			4		1	2	5	24
宿毛市												
土佐清水市	1			1								1
四万十市	3			3								3
香南市	23	3		17	3					3	3	29
香美市	9			9						2	1	12
東洋町												
奈半利町	1						1				1	2
田野町												
安田町	3	3									3	6
北川村												
馬路村	2	2								1		3
芸西村												
本山町	1	1									1	2
大豊町	3	3									1	4
土佐町												
大川村	2	2									1	3
いの町	4	4										4
仁淀川町	3	3						1				4
中土佐町	3	3										3
佐川町												
越知町												
橋原町	1						1					1
日高村	6	1		4			1			1	1	8
津野町	6	6										6
四万十町	6	4		1			1					6
大月町												
三原村												
黒潮町												
合計	137	47		73	3		14	1	1	13		
マッチング件数	152										32	184

【出前講座箇所別マッチング状況】

子ども教室：47 子ども教室の合同：0 児童クラブ：73 児童クラブの合同：3 子ども教室と児童クラブの合同：0  
 その他：15（※その他はPTA学年行事、社会福祉協議会、公民館行事等。） 開催予定（1月～）：1  
 自然災害（台風）による中止：1 講師の都合によるキャンセル：13 日程合わずマッチング不調：31

【マッチング先別人数】

令和5年12月31日現在 延べ人数

学習支援・サポーター等			講師及び補助		その他	合計
子ども教室 学習室（小）	学習室 （中学校）	児童クラブ	出前講座	研修会等		
	0	0	187	8	0	195



## 【出前講座申込・開催状況の推移】

年度	出前講座申込数	出前講座開催回数	夏季(7~8月)出前講座 申込数	夏季(7~8月)出前講座 開催回数
2019	274	215	251	213
2020	145	102	110	89
2021	149	109	127	95
2022	178	119	145	99
2023(4~12月)	184	137	168	125

## 【令和5年度出前講座実施状況及び参加者数】

参加者(延べ人数) 令和5年12月31日現在

参加小学生数	参加支援員数	参加保護者等	その他参加者	計
3,427	548	87	98	4,160

講師データ(職種別延べ人数)

令和5年12月31日現在

高校生	大学生	現職教員	退職教員	塾講師	その他	企業	団体	合計
0	16	10	16	1	105	0	44	192

講座別実施回数

令和5年12月31日現在

ものづくり									
ミニチュアガーデン②	石けんクラフト	ジェルキャンドル作り	植木鉢風りん	森林学習と木工作	森林学習とペン立て作り	森林学習と万華鏡づくり	貝殻のクラフト(1)	ペットボトルロケット飛ばし	ハーバリウム作り
5	1	10	3	3	1	1	3	1	2
ものづくり									
新聞エコバッグ作り	フタ板キーホルダー作り	木の美の工作2【クラフト】	巨大シャボン玉作り	森林学習とシターラック作り	森林学習とプランター作り	色砂の鉢植え(ハイドロカルチャー)	紙飛行機作り	磁器絵付け【マグカップ】	竹とんぼ作り
1	2	4	6	3	1	3	1	1	2
ものづくり							体験		
竹を使った工作(笛・ヤジロペー等)	五連発輪ゴム鉄砲作り	空気砲であそぼう	まきまきコップ	ヒノキの実リース	ペットボトル風車作り	リース作り	けん玉教室	筒けん教室	早押しクイズ
1	1	3	1	1	1	1	7	6	4
体験									
音楽と遊ぼう①クラシック音楽	地震の話【防災学習】	思いやりの魔法	みやもっち体育	3B体操	レクリエーション	レクリエーションダンス	ジャグリング	バルーンアート	けん玉教室103DAMA
1	4	1	1	2	1	1	2	6	1
体験									
キッズヨガ	十六4ミル映画会	手話教室	エコ学習(エコライフゲーム)	絵手紙	お金の話	川柳教室	折り紙	水の話	おもしろ科学教室(1)人力発電
1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
学ぶ				その他					
おもしろ算数教室	押し花アート	パステル画	おもしろ科学教室(2)光るガミ	マジックショー	マジックショーandマジック教室	腹話術	生きものO×クイズ		
1	3	2	2	16	1	1	2		

満足度(出前講座報告書:アンケートより集計...回収率59.54%)

令和5年12月31日現在

~60%	61~70%	71~80%	81~90%	91~100%
0	1	4	19	58

【個人講師(居住地別)の各市町村における講座実施回数】

令和5年12月31日現在

開催地 講師 居住地	室戸市	安芸市	香南市	香美市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	土佐市	須崎市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	いの町	仁淀川町	中土佐町	佐川町	越知町	梶原町	日高村	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	高知市	計	
室戸市																																				0
安芸市		1	1	1																																3
香南市		1	4							1									2							1										9
香美市		1	3	1				1				3	1	3										1	1											15
東洋町																																				0
奈半利町																																				0
田野町																																				0
安田町																																				0
北川村																																				0
馬路村																																				0
芸西村								1																												1
南国市			2									3							1																	6
土佐市												2	1	1																				1	5	
須崎市																																				0
本山町																																				0
大豊町																																				0
土佐町																																				0
大川村																																				0
いの町																																				0
仁淀川町																																				0
中土佐町																																				0
佐川町																																				0
越知町																																				0
梶原町																																				0
日高村																																				0
津野町																																				0
四万十町			1									5														1	1								1	9
宿毛市																																				0
土佐清水市																														1						1
四万十市																																				0
大月町																																				0
三原村																																				0
黒潮町																																				0
高知市		4	12	7		1		1		1		11	8	12	1	3		2	1	3	3			1	5	4	6						1	88		
計	0	7	23	9	0	1	0	3	0	2	0	24	10	16	1	3	0	2	4	3	3	0	0	1	6	6	8	0	1	1	0	0	0	3	137	